

特 116

218



始



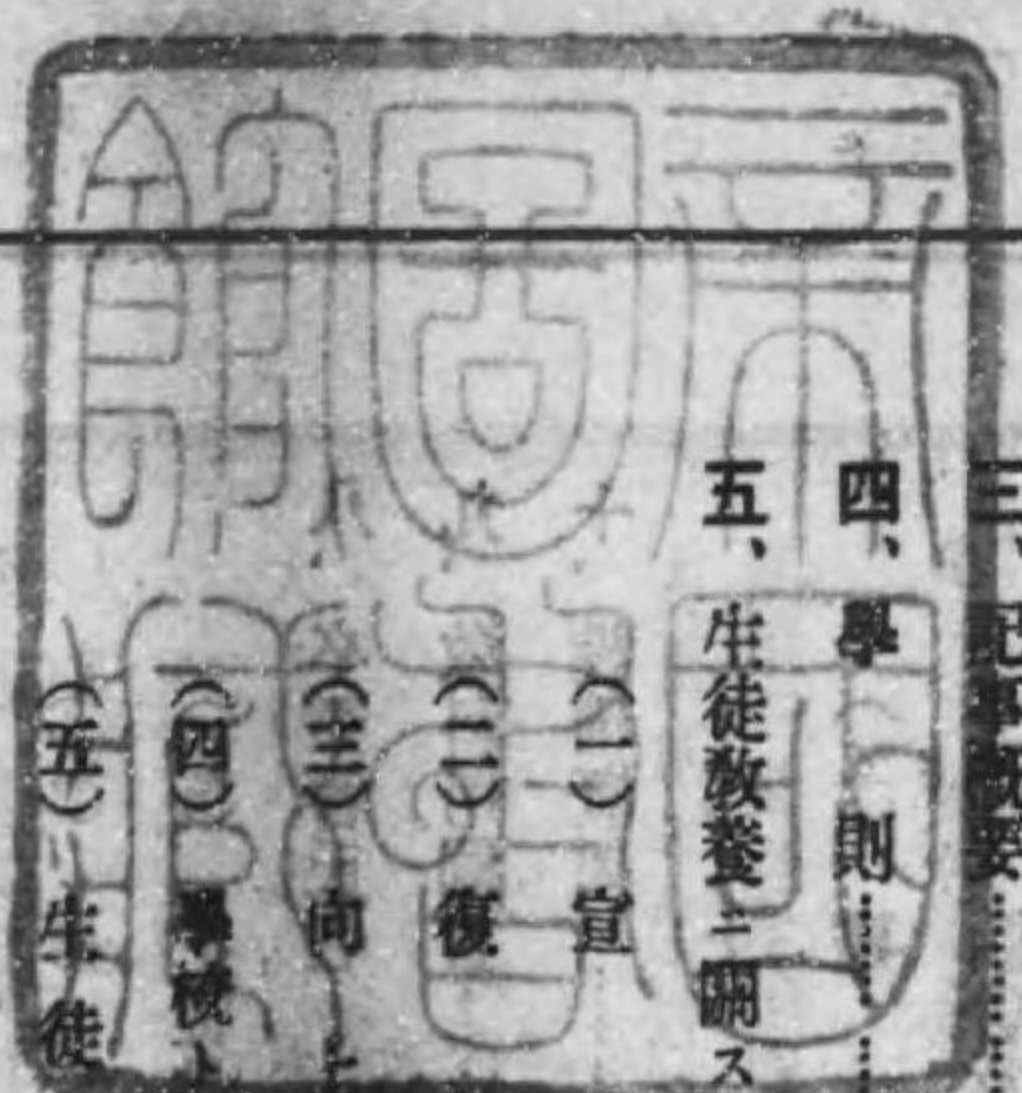
特 116

218

福島縣立岩瀨農學校第十年報

大正拾參年拾貳月現在

特116
218



福島縣立岩瀬農學校第十年報目次

- 一、沿革概要……………一
- 二、諸規則ノ制定改廢……………二
- 三、記事概要……………三
- 四、學則……………八
- 五、生徒教養ニ關スル施設……………一〇
 - (一) 宣 誓 式……………一〇
 - (二) 復 演 會……………一〇
 - (三) 向 板 課 題……………一〇
 - (四) 學校ト家庭トノ連絡……………一〇
 - (五) 生徒個性調査……………一〇
 - (六) 生徒監督上ノ施設……………一〇
 - (七) 圖書室ノ設置……………一〇
 - (八) 校内監督及校外取締……………一〇
- 六、職 員……………二二

- 七、現在生徒……………二六
 - (一) 專修科第一學年……………二六
 - (二) 全 第二學年……………二六
 - (三) 全 第三學年……………二六
 - (四) 本科第一學年……………二六
 - (五) 全 第二學年……………二六
 - (六) 全 第三學年……………二六
 - (七) 教員養成所……………二六
 - (八) 現在生徒地方別……………二六
 - (九) 本科第一學年入學志願者入學地方別……………二六
 - (十) 本科入學志願者入學者從前ノ教育……………二六
 - (十一) 生徒年齡別……………二六

大正
14.6.13
内交

六、中途退學生ニ關スル調

- (十三) 中途退學生ニ關スル調
- (十四) 生徒父兄職業別
- (十五) 在學中學實績算
- (十六) 修學旅行ノ狀況
- (十七) 生徒身體檢査統計(本校、養成所)

八、卒業生氏名

九、教科用圖書

十、設備概要

- (一) 地
- (二) 建
- (三) 圖書及器具器械標本類
- (四) 畜

十一、雜費概算

- (一) 一般會計歳出經常部
- (二) 特別會計歳出經常部

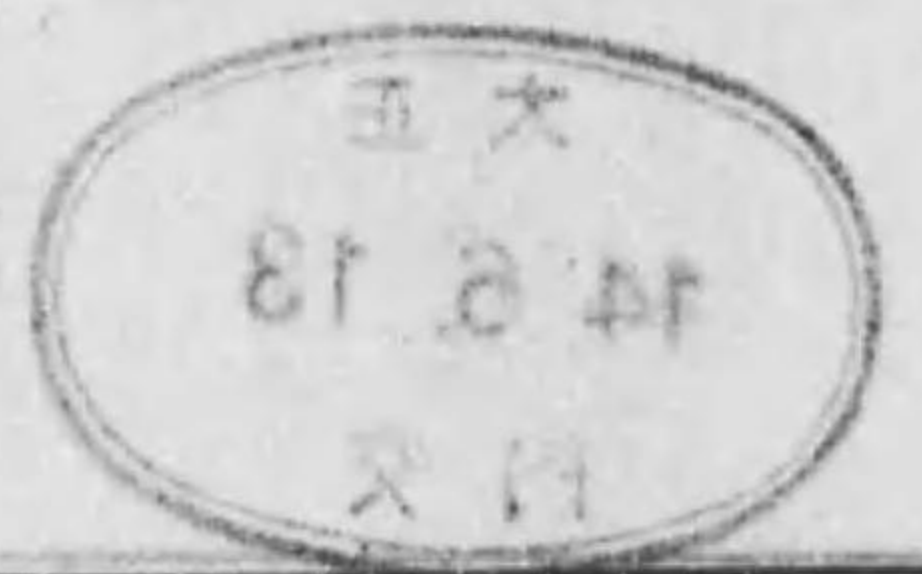
十二、小從實習

- (一) 實習ノ方針
- (二) 實習ノ種類及組織
- (三) 實習ノ方法
- (四) 實習ノ地
- (五) 農場實習成績概要
- (六) 養蠶實習概況
- (1) 春 蠶 狀 況
- (2) 夏 蠶 狀 況
- (七) 果樹栽培概況
- (八) 養畜ノ概況

十三、地方實業ノ關係

十四、寄宿舎ノ概況

目次終



一、沿革概要

明治四拾壹年四月 西白河郡ハノ羣農學校設立ノ認可ヲ受ケ假ニ西門河郡會議事堂ヲ以テ校舍ニ充テ西白河郡立農學校ト稱シ時ノ郡長鈴木直清校長事務取扱ヲ命セラレ同月貳拾貳日開校ノ式ヲ舉ケタリ之レ本校ノ前身ナリ

明治四拾壹年五月五日 島根縣能義郡立農學校校長綾部源橋校長ニ任セラレ

明治四拾壹年五月廿壹日 豫テ校舍ヲ白河町舊城址(現在ノ位置)ニ新築中ナリシニ工事竣成セルヲ以テ之レニ移轉セリ

明治四拾貳年拾壹月貳日 教育ニ關スル勅語謄本ヲ下賜セラレ

大正貳年參月拾壹日 文部省告示第四拾號ヲ以テ大正貳年四月ヨリ甲種組織トシテ縣立ニ變更シ福島縣立農學校ト改稱ノ件ヲ認可セラレ參月拾四日本縣令第拾參號ヲ以テ本校學則ヲ定メラル

大正貳年四月壹日 福島縣立蠶業學校校長藤本春二校長事務取扱ヲ命セラレ西白河郡ヨリ校舍其他全部受授ノ手續了了シ職前ノ分擔ヲ定メ同日貳拾壹日授業ヲ開始スルニ至レリ

大正貳年五月貳拾九日 農商務省指令農五壹九四號ヲ以テ本校ニ於テ蠶種ノ製造並ニ配布ヲナスノ件認可ヲ受ケ

大正貳年七月九日 本校舎(前面)一棟新築、養蠶室並ニ作業室ノ一部ノ増築其他ノ模様替工事ニ着手セリ

大正貳年拾月壹日 校長事務取扱藤本春二農商務省蠶業試驗場熊本支場長ニ轉任シ教諭清水洸校長ニ任セラレ

大正貳年拾月貳拾六日 校舍新築、増築、模様替工事竣成セルヲ以テ開校ノ式典ヲ舉ケタリ即チ本日ヲ以テ本校開校紀念日ト定メタリ

大正四年拾月貳拾七日 天皇陛下ノ御眞影ヲ拜戴セリ

大正五年拾月貳拾七日 皇后陛下ノ御眞影ヲ拜戴セリ

大正六年參月貳拾日 文部省告示第四七號ヲ以テ徵兵令第拾參條及文官任用令第六條第壹號ニ依リ認定セラレ
 大正六年拾貳月貳拾貳日 皇太子殿下御影ヲ拜戴セリ
 大正八年四月壹日 校長清水洲山形縣立置賜農學校長ニ補セラレ
 大正八年四月貳拾貳日 公立實業學校校長藤田豊本校長ニ補セラレ
 大正八年四月ヨリ 本校ニ農業教員養成科ヲ設置ス
 大正拾年四月ヨリ 農業教員養成科ヲ廢シ福島縣立實業補習學校教員養成所ヲ本校ニ併設ス
 大正拾壹年四月壹日 福島縣立農學校ヲ福島縣立岩瀬農學校ト改稱シ農學專修科ヲ加設ス
 四月拾貳日 現在ノ校舍ヲ岩瀬郡須賀川町ニ移轉ス

二、諸規則ノ制定改廢

大正二年三月十四日 本縣令第壹參號ヲ以テ本校學則ヲ發布セラレ
 大正二年六月十一日 本縣告示第四四號ヲ以テ本校蠶種配布規程ヲ發布セラレ
 大正二年七月二十五日 本縣指令學第貳壹壹號ヲ以テ本校生徒限制ノ認可ヲ受ク
 大正二年八月二十六日 本縣令第參參號ヲ以テ學則第四條(天長節祝日)ニ改正
 大正三年三月十四日 本縣指令學第貳六〇號ヲ以テ本校細則ノ認可ヲ受ク
 大正三年五月一日 本縣令第貳〇號ヲ以テ學則第五條(夏期休業ニ關シ)改正
 大正四年五月十七日 本縣指令學第貳參壹號ヲ以テ細則中生徒限制附則及寄宿舍規程第二條(乙種生徒ニ關スル)削除
 大正五年四月一日 本縣令第貳貳號ヲ以テ學則第六條(國語數學ノ教授時數)改正並ニ附則第貳條(乙種生徒ニ關スル)削除
 大正六年五月十一日 本縣告示第貳〇號ヲ以テ蠶種配布規程ヲ改正セラレ
 大正八年二月二十二日 告示第七拾八號ヲ以テ縣立農學校農業教員養成科生徒薦學規程ヲ定メラレ

大正八年三月二十六日 福島縣指令學第壹八四號ヲ以テ本校細則中第貳條改正ノ件認可セラレ
 大正九年三月十二日 福島縣指令學第壹六四參號ヲ以テ農業教員養成科卒業證書樣式ノ件認可セラレ
 大正九年十一月二日 福島縣令第六十五號ヲ以テ縣立農學校學則中改正第貳拾九條中(金壹圓七拾錢ヲ金貳圓八拾錢)トス
 大正十年四月十一日 福島縣令第貳拾六號ヲ以テ實業補習學校教員養成所規程ヲ發布セラレ
 大正十一年三月二十九日 福島縣令第十八號ヲ以テ福島縣立農學校學則ヲ改正セラレ
 大正十一年六月二日 福島縣指令學第三〇六五號ヲ以テ本科專修科生徒制限制定ノ件認可セラレ
 大正十二年四月二十一日 福島縣令第二〇號ヲ以テ專修科課程每週教授時數ヲ變更セラレ
 大正十二年六月十一日 農商務省指令農第六四七三號ヲ以テ蠶種製造配付規程許可セラレ

三、記事概要

大正十三年
 一月 一日 學校長以下職員生徒一同參集新年祝賀式ヲ舉行ス
 八日 午前九時第三學期始業式ヲ舉行ス
 十日 高橋虎治郎氏石器時代ノ古器物其他動植物ノ標本ヲ持參ス終業後一般生徒ニ觀覽セシム
 十一日 本日ヨリ武道寮稽古ヲ開始ス
 十六日 三神氏教育視察ノ爲來校ニツキ本科第二三學年及教員養成所生徒ニ對シ同氏ノ講演ヲ聽カシム
 廿六日 皇太子殿下御成婚祝賀式ヲ行ヒ式後旗行列ヲナシ愛宕山ニ至リ萬歳三唱解散ス
 廿七日 小泉教諭ハ第二回縣下小學校並ニ實業補習學校農業科担任教員打合會ニ出席ノ爲師範學校ニ出張翌日歸校
 卅一日 武道寮稽古終結式ヲ舉行ス
 二月 二日 石原教諭ハ教員養成所生徒ヲ引率シテ濱田實業學校ヲ參觀ス

四月 一日 午前八時本科專修科並ニ教員養成所生徒ニ對シ入場式ヲ舉行ス
 八日 藤田校長ハ學事視察ノ爲メ町中村町ニ出張十日歸校
 十七日 藤田校長ハ學事打合ノ爲メ出縣即日歸校
 十八日 藤田校長ハ學事視察ノ爲メ本郡牧本村ニ出張即日歸校
 廿八日 藤田校長ハ四月廿九日卅日開催ノ縣下勸業主任會議並ニ實業學校長打合會ニ出席ノ爲メ福島市ニ出張五日一日歸校
 五月 二日 北會津郡永和實業補習學校生徒渡邊功氏引卒ノ下ニ來校見學ス
 十一日 午前八時ヨリ旭ヶ岡公園運動場ニ於テ第十一回陸上運動會ヲ舉行午後四時無事終了ス
 十四日 藤田校長ハ全國實業補習學校教員養成所長並ニ全國農業學校長會議ニ出席ノ爲メ本日出發廿五日歸校
 十五日 小泉教諭ハ全國實業補習學校教員養成所長並ニ主事會議ニ出席ノ爲メ本日出發廿日歸校
 廿四日 午前九時出納検査ノ爲メ縣參事會 七名會計課屬一名來校ス
 廿九日 藤田校長ハ學事打合ノ爲メ出縣即日歸校
 卅一日 教諭中島小太郎宮城縣佐沼中學校ニ轉任ニツキ正午校庭ニ於テ告別式ヲ行フ
 六月 一日 本日午前七時ヨリ本校々友會主催ノ下ニ縣下庭球大會ヲ本校々庭ニ開催ス午後五時無事終了
 七日 藤田校長ハ學事打合ノ爲メ出縣即日歸校
 十六日 本日職員生徒一同水田ニ出動田植ヲ終了ス
 十九日 本日午後一時ヨリ大谷農業教ノ告別藤田農業教師並ニ太田柔道教師ノ披露式ヲ行ヒ終ツテ田植上儀祝賀會ヲ舉行ス
 七月 三日 本日午後二時ヨリ本校講堂ニ於テ若松縣區司令官ノ講演アリ一般生徒ヲシテ聽講セシム
 八日 藤田校長ハ縣下中等學校長會議ニ出席ノ爲メ本日出發十日歸校
 十九日 校舎内外ノ整理ヲナシ終業式ヲ舉行ス

四月 一日 本日武藏野高等商業學校ヲ行ヒ終ツテ創設試合ヲ行フ
 五日 田中實業學校校長來校ス
 六日 石原教諭ハ教員養成所生徒ヲ引率シテ須賀川小學校ヲ參觀ス
 七日 觀會計課長來校ス
 廿一日 天然痘豫防ノ爲メ職員生徒一同種痘ヲナス
 廿五日 鈴木教諭ハ學事視察ノ爲メ本日ヨリ三日間ノ豫定ヲ以テ石城郡平野村及窪田村ニ出張ス
 廿七日 太田教諭ハ學事視察ノ爲メ本日ヨリ三日間ノ豫定ヲ以テ石城郡平町、草野村、神谷村、小名濱町ニ出張ス
 廿八日 本日午後一時ヨリ當町修養會、軍人分會、青年團主催ノ下ニ伊豆少將閣下ノ修養ニ關スル講演會ヲ本講堂ニ開催ニツキ一般生徒ニ聽講セシム
 廿九日 藤田校長ハ學事打合ノ爲メ出縣即日歸校
 五月 五日 柏村書記ハ學事打合ノ爲メ出縣即日歸校
 十三日 藤田校長ハ學事打合ノ爲メ出縣即日歸校
 十五日 菅野縣視學來校養成所卒業生ニ對シ指導講話アリ
 十七日 午前十時ヨリ本科第九回、專修科第二回、教員養成所第三回卒業證書授與式ヲ舉行ス知事代理辻學務課長臨席セラル來賓及生徒父兄三十余名列席午前十一時終了セリ
 十八日 石原教諭ハ學事打合ノ爲メ出縣即日歸校
 廿二日 藤田校長ハ學事視察ノ爲メ若松市並ニ喜多方町ニ出張翌日歸校
 廿六日 片山教諭ハ學事視察ノ爲メ石城郡平町、相馬郡原町中村町ニ出張廿四日歸校
 藤田校長ハ學事視察ノ爲メ郡山町ニ出張即日歸校
 今明兩日本科第一學年專修科第一學年教員養成所入學志願者ニ對シ學術試驗及体格検査口頭試問ヲ行フ本科志願者百三十四名、專修科三十四名、教員養成所九十三名ナリ

廿一日 本日ヨリ三浦忠藏氏指導ノ下ニ劍道夏稽古ヲ開始ス
 卅一日 藤田校長ハ學事視察ノ爲メ相馬郡中村町ニ出張八月一日歸校
 石原教諭ハ實業補習學校教員養成所ニ關スル事項取調ノ爲メ宇都宮市、前橋市、熊谷町、青梅町
 茂原町常盤村ニ出張八月五日歸校ス
 八月五日 本日午前九時劍道夏稽古修業式ヲ行フ
 皇太子殿下並ニ同妃殿下ニハ島島高松宮御別邸ニ行啓ニツキ午後一時職員生徒一同停車場ニ奉迎
 ス
 十二月 藤田校長ハ皇太子殿下並ニ同妃殿下御機嫌奉伺ノ爲メ島島ニ出張即日歸校
 廿八日 藤田校長ハ學事並ニ農事視察ノ爲メ石川郡蓬田村ニ出張翌日歸校
 卅日 皇太子殿下並ニ同妃殿下御還啓ニ付職員生徒一同停車場ニ奉送ス
 九月 一日 午前八時第二學期始業式ヲ舉行ス
 二日 藤田校長ハ体育大會協議會ニ出席ノ爲メ安積中學校ニ出張即日歸校
 四日 本日終業後講堂ニ於テ西村教諭心得ノ披露式ヲ舉行ス
 十日 長井内務部長來校校舍内外ヲ視察ス
 十三日 中村、市川、鈴木ノ三教諭、藤田横田ノ兩教師ハ第三回体育出場選手引率ノ爲メ郡山町ニ出張十四
 日歸校
 十月 十四日 太田、弓田、小泉ノ三教諭ハ前全即日歸校
 九月 九日 藤田校長ハ學事打合ノ爲メ出縣即日歸校
 市川、石幡ノ兩教諭ハ生徒修學旅行指導引率ノ爲メ關西方面ニ出張十七日歸校
 十三日 戊申詔書奉讀式ヲ行フ
 十七日 藤田校長ハ縣下農業教育研究會ニ出席ノ爲メ蠶業學校ニ出張十九日歸校
 十八日 弓田、市川ノ教諭ハ前全十九日歸校

本日講堂ニ於テ岡部宗城ノ米七考ノ題下ニ講演アリ一般生徒ヲシテ聽講セシム
 廿一日 藤田校長及石原教諭ハ實業教育振興會ニ出席ノ爲メ本日出張廿二日歸校
 廿六日 午前八時ヨリ第十一回創立紀念式ヲ舉行ス
 卅日 本日午前九時教育ニ關スル勅語奉讀式ヲ行フ
 藤田校長ハ學事打合ノ爲メ出縣即日歸校
 卅一日 午前八時ヨリ職員生徒一同參集天長節祝賀式ヲ舉行ス
 十一月 三日 午前八時体育デーニ關スル講話ヲナシ終リテ全校生徒ノ各種競技ヲ行フ
 十日 精神作興ニ關スル詔書奉讀式ヲ行ヒ勤儉ニ關スル講話ヲナス
 十三日 藤田校長ハ學事打合ノ爲メ出縣即日歸校
 十四日 本日ヨリ三日間校友會主催ノ下ニ第十回農產物品評會ヲ開催ス
 十七日 市川教諭ハ發火演習地視察ノ爲メ長沼町及牧本村方面ニ出張翌日歸校
 廿七日 本日午前七時本校生徒發火演習舉行ノ爲メ長沼町及牧本村方面ニ出發指導トシテ栢森、中村、弓田、
 市川、太田、石幡ノ教諭出張翌廿八日午後四時一同無事歸校
 今明兩日縣下實業補習學校並ニ小學校農業科擔任教員打合會ヲ本校講堂ニ於テ開催ス文部省ヨリ
 實業補習教育主事千葉敬止氏並ニ菅野縣視學臨席講演アリ
 十二月 廿四日 本日午後一時第二學期終業式ヲ舉行ス

四、福島縣立岩瀨農學校學則

第一章 總 則

第一條 本縣立農業學校ハ農業學校規程ニ依リ農蠶業ニ從事セントスル者ニ須要ナル智識技能ヲ授ケ兼テ德性ヲ
 涵養スルヲ以テ目的トス
 第二條 本縣立農業學校ハ左ノ六校トス

福島縣立蠶業學校、福島縣立岩瀨農學校、福島縣立會津農林學校、福島縣立相馬農蠶學校

第三條 蠶業學校及岩瀨農學校ニ專修科ヲ置ク蠶業學校ノ專修科ヲ分チテ第一種第二種トス

第四條 本縣立農蠶學校ノ修業年限並生徒定員ヲ定ムルコト左ノ如シ
科 別 修業年限 生徒定員
岩瀨農學校 本科 三箇年 百五十人
專修科 三箇年 百五十人

第二章 學年期式日及休業日

第五條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル學年ヲ分チテ三學期トシ第一學期ハ四月一日ヨリ八月三十一日マテ、第二學期ハ九月一日ヨリ十二月三十一日マテ、第三學期ハ翌年一月一日ヨリ三月三十一日迄トス

第六條 紀元節、天長節祝日及一月一日ニハ職員生徒學校ニ參集シテ祝賀式ヲ行フ、學校創立記念日及卒業證書授與ノ日ニハ職員生徒學校ニ參集シテ其式ヲ行フ

第七條 休業日ハ左ノ如シ

一、日曜日 二、祝日、祭日 三、學校創立記念日(十月二十六日) 四、春季休業三月二十四日ヨリ三月三十一日マテ 五、夏季休業七月二十一日ヨリ八月三十一日マテ 但休業中ト雖モ實習ヲ課スルコトアルヘシ 六、冬季休業、十二月二十五日ヨリ翌年一月七日マテ

第三章 學科目課程及每週教授數

第八條 學科目其課程及每週教授數別表如シ
但實習ノ時數ハ其繁閑ニ應ジテ學校長適宜之ヲ定ム

第四章 生徒ノ入學、在學及退學

第九條 生徒入學ノ期ハ學年ノ始トス

第十條 本科第一學年ニ入學スルコトヲ得ル者ハ年齢十四年以上ノ男子ニシテ修業年限二ヶ年ノ高等小學校卒業程度以上ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

第十一條 專修科第一學年ニ入學スルコトヲ得ル者ハ年齢十二年以上ノ男子ニシテ尋常小學校卒業程度以上ノ學力ヲ有スル者タルヘシ

第十二條 入學セントスル者ハ入學願書(書式第一號)ニ履歷書(書式第二號)及戶籍抄本ヲ添へ學校長ニ差出スヘシ

第十三條 第一學年入學志願者ノ數募集人員ヲ超過スルトキハ國語算術及理科ニ就キ選抜試験ヲ行フ

第十四條 相當年齢ニ達シ他ノ學校ニ於テ前各學年ノ課程ト同程度ト認ムヘキ課程ヲ卒リタル者又ハ試験ニ依リ相當ノ學力アリト認メタル者ハ第二學年以上ニ入學ヲ許スコトヲ得

第十五條 他ノ農業學校ノ生徒ニシテ轉學ヲ志願スル者アルトキハ試験ヲ行ハスシテ相當學年ニ編入スルコトヲ得

第十六條 他ノ農業學校ヲ卒業シタル者ニシテ入學ヲ志願スルモノアル時ハ試験ヲ行ハスシテ相當ノ學年ニ編入スル事ヲ得

第十七條 退學シタル生徒ニシテ退學シタル日ヨリ一箇年以内ニ再入學ヲ志願スルトキハ同一學年以下ノ學年ニ限リ入學ヲ許スコトヲ得

第十八條 入學ヲ許可セラレタルモノハ保證人ヲ定メ在學證書(書式第三號)ヲ學校長ニ差出スヘシ

保證人ハ本校所在地ヨリ一里以内ニ居住スル成年ノ男子ニシテ一家計ヲ立ツル者ニ限ル保證人死亡又ハ前項ノ資力ヲ失ヒタル時ハ更ニ保證人ヲ定メ在學證書ヲ差出サシム

第十九條 學校長ニ於テ保證人ヲ不適當ト認ムルトキハ之ヲ變更セシメ更ニ在學證書ヲ差出サシム

第二十條 保護者又ハ保證人住所ヲ移轉シ或ハ氏名ヲ改メ又ハ改印シタルトキハ其理由ヲ具シ保護者保證人連署ノ上學校長ニ届出ツヘシ

第二十一條 在學中徵兵事故發生シタルトキハ其都度學校長ニ届出ツヘシ

第二十二條 退學セントスルトキハ其事由ヲ具シ保護者保證人連署ノ上學校長ニ届出ツヘシ但疾病ノ爲メナルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添フルヲ要ス

第廿三條

學校長ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ト認メタルトキハ退學ヲ命ス

- 一、品行不良ニシテ改悛ノ見込ナキ者
- 二、學業ノ成績劣等ニシテ卒業ノ見込ナキ者
- 三、正當ノ理由ナクシテ引續キ一ヶ月以上缺席シタル者
- 四、引續キ一箇年以上缺席シタル者
- 五、出缺席常ナラサル者

第廿四條

本章ニ於テ保護者ト稱スルハ生徒ニ對シテ戸主權ヲ行フ者ヲ云フ
但シ生徒カ戸主ナルトキハ其生徒ニ對シ親權ヲ行フ者又ハ後見人ヲ云フ

第五章 課程ノ修了及卒業ノ認定

第廿五條

各學年課程ノ修了及卒業ヲ認ムルニハ平素ノ成績操作及試験ノ成績ヲ考査シテ之ヲ定ム

第廿六條

平素ノ成績ヲ考査スルニハ日課評點ニ依ル

第廿七條

試験ヲ分チテ臨時試験及學期試験トス

臨時試験ハ各學期ニ於テ隨時之ヲ行フ

學期試験ハ各學期末ニ於テ其學期ニ履修シタル事項ニツキ之ヲ行フ

但學科ニ依ル學期試験ヲ行ハサルコトヲ得

第廿八條

試験ニ缺席シタル者ニ對シテハ特ニ追試験ヲ行フコトヲ得

第廿九條

各學科目ノ學期成績ハ學期試験及臨時試験ノ評點ト日課評點トニヨリテ定ム
但試験ヲ行ハサル學科ニアリテハ日課評點ノミヲ以テ其ノ成績トス

各學科目ノ學年成績ハ各學期ノ成績評點ヲ平均シタルモノトス

一學科目ヲ數學科目ニ分チ各評點ヲ附スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ各科目ヲ一學科ト見做ス

前項ノ分科ハ學校長之ヲ定ム

第三十條

評點ハ一科目百點ヲ以テ滿點トス

第卅一條

各學科目學年ノ成績評點四十點以上學科平均六十點以上實習ノ成績評點六十點以上ヲ得サル者ハ進級又ハ卒業セシムルヲ得ス 但平素ノ學業及操作ヲ考査シ特ニ此ノ例ニ依ラサルコトヲ得

第卅二條

學校長ハ本校ヲ卒業セリト認メタル者ニ卒業證書(書式第四號)ヲ授與ス

第六章 授業料

第卅三條

授業料ハ一箇月貳圓八拾錢トス
専修科生徒ハ一ヶ月金貳圓トス

學校ニ於テ休業セシムルコト至月ニ渉ル時ハ其月分及八月分ハ之ヲ徴収セス

第卅四條

授業料ハ學校長ノ交附スル納入告知書ニ依リ之ヲ納ムヘシ

第卅五條

授業料ノ納期ハ毎月五日ヨリ十日迄トス

但其間休業日アルトキハ順延トス前項ノ納期後入學セシメタルモノハ入學ノ日ヨリ五日以内ニ納期前退學スル者ハ其際之ヲ納ムヘシ

第卅六條

納入告知書ニ指定セル期限内ニ授業料ヲ納付セサルトキハ出席ヲ停止ス

前項ニヨリ出席ヲ停止シタルトキハ學校長ハ保護者又ハ保證人ニ通知ス

第卅七條

前條ニ依リ出席ヲ停止セラレタル者其翌月ノ納期ヲ過キ尙授業料ヲ納メサルトキハ退學ヲ命ス

此場合ニ於テハ其滞納ニ係ル授業料ヲ徴収セス

第七章 褒賞及懲戒

第卅八條

在學中學業操作共ニ優良ナル者ハ學校長之ヲ表彰スルコトヲ得

第卅九條

學校長ハ生徒ノ本分ヲ誤リ學校ノ風紀ヲ紊ルノ行爲アル者ニ對シ其情狀ニ依リ左ノ懲戒ヲ行フ

- 一、謹慎
- 二、停學
- 三、放校

謹慎ノ期間ハ十四日以内停學期間ハ六十日以内トス

第八章 寄宿舎

第四十條

寄宿舎ノ入舎又ハ退舎ハ學校長ノ指揮ニ依ルヘシ

第四一條 寄宿舎ニ於ケル炊事其他ノ方法ハ學校長之ヲ定ム

第九章 職員ノ職務

第四二條 學校長ハ知事ノ命ヲ受ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ指揮監督ス

第四三條 教諭ハ學校長ノ命ヲ受ケ生徒ノ教育ヲ掌リ又校務ヲ分掌ス

第四四條 助教諭ハ學校長ノ命ヲ受ケ教諭ノ職掌ヲ助ケ

第四五條 舍監ハ學校長ノ命ヲ受ケ寄宿舎ニ於ケル訓育ヲ掌リ寄宿舎ニ關スル事務ニ從事ス

第四六條 書記ハ學校長ノ命ヲ受ケ庶務ニ從事ス

附 則

第四七條 本則ハ大正十一年四月一日ヨリ施行ス

福島縣立岩瀬農學校農業本科學科課程及每週教授時數

科目	年		
	第一學年	第二學年	第三學年
修身	一人倫道德ノ要旨	一同上	一同上
國語	四 國語、漢文作文	三 同上	三 同上
數學	五 算術、代數	三 幾何	三 幾何、三角、測量
物理學	二 同上	一 同上	一 氣象
化學	三 無機	二 有機	
博物學	四 動物、植物		

法制及經濟			四 法制大意、經濟原理、農經業濟
體操	二 兵式體操	二 同上	二 同上
外國語	三 英語	二 同上	二 同上
作物及園藝	二 普通作物	四 工藝作物、蔬菜	三 作物汎論、果樹
土壤及肥料		二 土壤、土地改良	二 肥料
病蟲害		三 病蟲害	
畜產		四 畜產各論、馬學	三 畜產汎論、各論
農產製造			一 農產製造
養蠶	二 飼育、栽桑	二 蠶體生理	一 蠶種製造
林學大意			二 林學大意
獸醫學	二 家畜生理	一 家畜衛生	二 疾病ノ大要
計	三〇	三〇	三〇
實習	不定時	不定時	不定時

福島縣立岩瀬農學校專修科課程及每週教授時數 (大正十二年三月三十一日 文部省認可)

科目	時數	第一學年			第二學年			第三學年		
		授時數	課程	授時數	課程	授時數	課程			
修身	一	一	人倫道德ノ要旨	一	同上	一	同上			
國語	七	七	講讀、作文、習字	五	同上	四	講讀、漢文			
數學	五	五	算術ノ内、分數、比例、百分算	四	算術ノ内、求積、開平、開立	三	測地法大意			
物理				四	物理化學	一	氣象			
化學										
博物	四	四	博物大意							
地理及歷史	四	四	日本地理、外國地理、日本歷史							
法制及經濟						三	法制經濟ノ大要、農業法規、農業經濟			
體操	一	一	體操教練	一	同上	一	同上			
外國語	二	二	英語	二	同上	二	同上			
作物及園藝	二	四	作物汎論	四	普通作物、蔬菜	三	果樹、蔬菜			
土壤及肥料						四	土壤、土地改良、肥料			
病蟲害				二	蟲害	二	病害			
畜產				二	主ナル家畜ノ飼育法					

科目	時數	第一學年			第二學年			第三學年		
		授時數	課程	授時數	課程	授時數	課程			
農產製造						一	農產製造			
養蠶	三	三	蠶兒飼育	四	蠶體生理	三	蠶體病製造			
林學						一	林學大意			
實習	不定時	不定時		不定時		不定時				
計	二九	二九		二九		二九				

實習ノ時數ハ學校長之ヲ定ム

書式

(第一號)

(用紙半紙)

入學

願

本籍族稱戸主トノ續柄
(現住所)

氏

年月日生名

右御校農學(本科)第何學年ニ入學御許可相成度別紙履歷書相添此段相願候也

右保護者 氏

名印

學校長宛

(第二號)

(用紙半紙)

履歷書

本籍族稱戸主トノ續柄

氏

年月日生名

一、學業

何年何月何ヨリ何學年ニ入り何學年又ハ何學科修業等

一、職業

何年何月何日ヨリ何年何月何日マテ何業ヲ營ミ何職ニ就ク等

一、賞罰

何年何月何日何所ニ於テ何賞ヲ受ケ又ハ何罰ヲ受ク等

一、家業

何業

右ノ通ニ候也

年月日

右 氏

名印

(第三號)

(用紙半紙)

印紙

在學證書

私儀令般御校へ入學許可相成候ニ付テハ御規則命令堅ク相守リ一意勉勵可致候仍テ證書如斯候也

本籍族稱戸主トノ續柄

氏

名印

前書ノ通堅ク相守ラセ監督保護ノ責ニ任スルハ勿論本人ニ係ル一切ノ事件ハ拙者ニ於テ引受可申候仍テ連署致候也

年月日

右保護者(本人トノ續柄)

氏

名印

本籍族稱職業

現住所

保證人

氏

年月日 名印 生

學校長宛

(第四號)

卒業證書

道府縣族稱

氏

年月日 生

學校印

本校ノ課程ヲ卒業セリ仍テ之ヲ證ス

年月日

學校長

氏

名印

實業補習學校教員養成所規程

第一條 實業補習學校教員養成所ハ福島縣立岩瀬農學校ニ之ヲ併設ス

第二條 實業補習學校教員養成所ハ實業補習學校教員養成所令並同施行規程ニ依リ實業補習學校及小學校農業科教員タルヘキ者ヲ養成スルヲ目的トス

第三條 本所ノ修業年限ヲ一箇年トス

第四條 本所ノ生徒定員ヲ四十名トス

第五條 生徒ハ郡市長ノ推薦ニ係ル者及一般志願者ヨリ之ヲ募集ス

本所ノ學科目ハ修身、教育、法制、經濟、農業及實習、國語、數學、理科並ニ體操トス

每週教授時數ハ左表甲號ニ依ル

但生徒中學校卒業者並農業ヲ履修セサリシ者ニ對シテハ乙號ニ依ル

左表甲號

學科目	時數	課	程
修身	二	道德ノ要旨、社會學大意	
教育	六	教育學、學校管理法、農業教授法、實習	
法制及經濟	二	法制、經濟ノ大要	
農業	八	作物、土壤、肥料、病蟲害、畜産、養蠶、農業、經濟、林學	
國語	三	國語、漢文ノ講讀、作文	
數學	四	算術、代數、幾何	
理科	四	物理、化學、博物	
體操	一	兵式體操	
計	三〇		
實習不定時			
乙號			
學科目	時數	課	程
修身	二	道德ノ要旨、社會學大意	
教育	二	農業教授法、實習	
法制及經濟	二	法制經濟ノ大要	

農業	體操	計	實習	實習時數ハ學校長之ヲ定ム
二	一	三〇	不定時	第六條 本所ニ入學スルコトヲ得ル者ハ品行方正身體健全ナル十七年以上ノ男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノタルヘシ
作物、土壤、肥料、病蟲害、畜産、養蠶、農業、經濟、林學	兵式體操			一、尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年以上ノ農業學校又ハ之ト同程度ノ農業學校ヲ卒業シタル者
				二、尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年ノ農業學校ヲ卒業シ二年以上農業ニ關スル經驗ヲ有スル者
				三、師範學校又ハ中學校ヲ卒業シタル者小學校本科正教員又ハ農藝科專科正教員ノ免許狀ヲ有スル者
				前項ノ外所長ニ於テ前項ニ準スヘキ者ニシテ相當ノ學力アリト認めタル者ハ之ヲ入學セシムルコトヲ得
				第七條 授業料ハ之ヲ徴収セス
				第八條 本所生徒ニハ食費ヲ支給ス
				前項ノ食費ハ月額金拾圓トシ毎月末日(休日ニ當ルトキハ順次繰上)之ヲ支給ス但休學停學中及八月分ハ之ヲ給セス
				第九條 本所卒業者ハ其卒業證書授得ノ日ヨリ二箇年間本縣指定ノ實業補習學校又ハ小學教員ノ職ニ從事スル義務ヲ負フ

第十條

所長ニ於テ退學テ命シタル者ニ對シテハ其在學セル月數ニ應シ授業費及食費ヲ償還セシム

第九條ノ義務ヲ終ラサル者ニ對シテハ授業料及食費ノ全部ヲ服務スヘキ總月數ニ割當テ既ニ服務シタル月數ニ對スル金額ヲ授業費及食費ノ全部ヨリ控除シ殘餘ノ金額ヲ償還セシム

前項ノ授業費ハ年額拾圓トシ食費ハ在學中給シタル金額トス

前二項ニ對シテハ情狀ニ依リ其全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

五、生徒教養ニ關スル施設

本校設立ノ目的ヲ達シ生徒ヲシテ卒業ノ後自ラ實業ニ從事シ且郷黨ノ指導者タラシメンニハ實ニ學業ヲ修得セシムルノミナラズ又高尚ナル人格ヲ養成スルニアリ是ヲ以テ日常些末ノ事ト雖モ苟且ニ附セス正確ニ實行スルノ觀念ヲ得セシムルニ努ム

一、宣誓式

生徒入學ノ際ハ嚴肅ナル宣誓式ヲ行ヒ宣誓簿ニ自署セシメ又宣誓文ハ教室ニ揭示シ生徒ヲシテ常ニ自省服膺躬行セシムルニ資ス宣誓文左ノ如シ

宣誓文

- 一、教育勅語戊申詔書ノ聖旨ヲ奉體シ本校生徒タルノ本分ヲ守ルヘキコト
 - 一、校規命令示達ヲ遵守シ師表ヲ尊敬スヘキコト
 - 一、奢侈安逸ヲ戒メ質素勤儉ヲ主トスヘキコト
 - 一、品性ヲ高フシ勤勞ヲ尊フヘキコト
- 右宣誓候也

二、復演會

生徒ノ自修ヲ勸メ講演ノ能ヲ養ハシカ爲毎月一回三十日(教育勅語御下賜ノ日)ヲ以テ復演會日ト定メ學級監督司會ノ下ニ各教室ニ於テ復演會ヲ行フ即チ 徒交互既修ノ學科ニツギ講演ヲ試ミ復演終了後學級監督ハ夫々生徒ノ態度用語等ニツキ批評ヲ下シ且ツ指導ヲ與フルモノトス

三、向上板課題

生徒ノ自發的研究心ヲ助長シ常識ヲ養成シ新智識ヲ普及センカタメ本校内揭示場ニ向上板ヲ設ク向上板ハ之ヲ分チテ問題部及ヒ揭示部ノ二部トシ職員交互期間ヲ定メテ之ヲ擔當ス問題部ニハ各種ノ課題ヲ掲ケテ之ヲ本校生徒ニ示シ解答ハ所定ノ答案箱ニ投入セシム揭示部ニハ各種ノ事項ヲ揭示シテ如上ノ目的ヲ遂行セン事ヲ期ス

四、學校ト家庭トノ連絡

家庭トノ連絡ヲ計ランカタメ通信簿ヲ用ヒテ生徒ノ勤惰、成績ノ良否、其他ノ事項ニ就キ通信ヲ怠ラス又時ニ學級監督ハ生徒ノ家庭ヲ訪問シ生徒ノ日常ノ性行ヲ調査シ父兄ノ希望ヲ聽取スル等ノ舉ニ出テ或ハ又必要ニ應シ父兄ノ來校ヲ需メテ懇談シ努メテ學校ト家庭トノ連絡ヲ密接ナラシメントス

五、生徒個性調査

各學級毎ニ個性調査簿ヲ備ヘ學級監督ハ所管學級生徒ノ個性ヲ調査シ家庭ノ狀況、成績ノ良否其他ノ事項ヲ併記シ以テ個性善導ノ資ニ供ス

六、生徒監督上ノ施設

各學級ニ學級監督二名ヲ置キ其學級生徒ノ監督ニ膺ラシメ且ツ生徒監督二名ヲ置キ生徒全体ニ就キ教養上ノ統一ヲ圖リツ、アリ

七、圖書室ノ設置

大正十一年六月校友會文藝部ト協力シテ圖書室ヲ設ケ生徒ヲシテ自由ニ出入閱讀セシム六月ヨリ十二月ニ至ルマデ、購入シタルモノト職員生徒ノ寄附シタルモノト合セテ新舊圖書及雜誌ノ部數百四十五ヲ算ス

八、校內監督及校外取締

生徒ノ風紀ヲ監督センカ爲職員交互ニ巡視當番ヲ設ケ毎日校ノ内外ヲ巡視シ時々生徒ノ宿舍ヲモ訪問シ之レガ

六、職員

(一) 現在職員

職名	資格	擔任學科	就職年月日	勳位	氏名	族稱
學務長	東京帝國大學農科大學農學科卒業農學士	修身	大正八年四月廿二日	從六位	藤田 豊	奈良縣族
教授	同上	英語、育種、測量、農業經濟	全 十一年九月廿七日	正七位	片山 駿太郎	岡山縣民
同 上	東京帝國大學農科大學附屬農畜教員養成所	土壤、算術、歴、地理、修身、求積	全 十一年三月卅一日	從七位	江間 岩太	福島縣族
同 上	同上	植物、蔬菜、土地改良、氣象、工藝作物	全 十二年十二月十日	正七位	栢 森文彦	静岡縣民
教諭兼舍監	同 獸醫科實科	畜産、馬學、家畜生理、家畜衛生、動物	全 七年五月十日	從七位	中村 吉重	新潟縣族
同 上	東京帝國大學農科大學附屬農畜教員養成所	化學、算術、林學、土壤	全 七年三月十四日		小泉 松五郎	福島縣民
同 上	東京帝國大學農科大學農學實科	教育學、社會學、法制經濟、英語、國語	全 十二年十月廿二日		石原 惣六	大分縣民
同 上	東京帝國大學農科大學農學實科	普通作物、肥料、植物病理、果樹、昆蟲	全 十一年八月廿四日		太田 明四郎	長崎縣族
教諭兼舍監	上田蠶糸專問學校	養蠶、英語	全 十一年四月五日		弓田 弘	福島縣民
同 上	福島縣立蠶業學校本科	養蠶、体操	全 十一年四月廿七日	從七位勳六等功五級	市川 孫重郎	同上

職名	資格	擔任學科	就職年月日	勳位	氏名	族稱
教諭	試驗檢定	國語、漢文、作文	全 十一年四月三十日		菅野 鏡吉	福島縣族
同 上	東京農業大學高等科	作物、國語、習字、法制經濟	全 十一年三月卅一日		住吉 貞恒	同上
同 上	宮城縣立農業學校獸醫科	博物、畜産、獸醫、英語	同 上		石幡 吉平	福島縣民
同 上	福島縣立農學校卒業實業學校教員免許	蔬菜、作物各論、特用作物、農産製造、作物、病理、土壤	全 十一年三月卅一日		鈴木 久四郎	同上
農業教師	福島縣立農學校農業教員養成科	果樹、肥料、昆蟲	全 十三年六月十六日		藤田 常吉	同上
教諭心得		數學、物理	全 十一年八月卅一日		西村 秀雄	德島縣民
劍道教師		劍道	全 十一年九月廿六日		横田 勝太郎	同上
學校醫	東京帝國大學醫科大學		全 十一年四月廿二日		永井 力	鹿兒島縣土族
書記		會計係	全 十一年三月卅一日		蛭田 耕作	福島縣民
書記兼教授囑託		國語、作文、庶務係	同 上		柏村 彌市	同上
書記心得		會計兼庶務係	全 十三年九月四日		仁平 吉太郎	同上

(二) 舊職員

職名 退職年 月 日 現職 在職年數 氏名 族稱

渡橋松岩有車 邊本谷井我田 義重三誠治忠 房吉治同同福 同同同同島 同同同同縣 同同同同平	(三) 專修科第三學年 (二十一名)	和松設安吉佐荒 田島樂田田藤牧 金忠彌富三德與殿 一雄廣一同同同 同同同同同同福 同同同同同同島 同同同同同同縣 同同同同同同平	(二) 專修科第二學年 (二十七名)	熊渡西大根 井邊東塚本 德光嘉太三 治一善郎右 同同同同衛 同同同同門 同同同同福 同同同同島 同同同同縣 同同同同平 民	關圓佐並常 根谷藤木松 一庄虎金文 郎司雄一雄 同同同同福 同同同同島 同同同同縣 同同同同平 民	古佐本馬服 川藤柳場部 忠喜丈清燕 四芳夫同同 同同同同福 同同同同島 同同同同縣 同同同同平 民	菊峯後丹佐 地岸藤治久 萬一武八 作進二郎 同同同同福 同同同同島 同同同同縣 同同同同平 民	
橋設水渡齋古 本樂野邊藤川 左武精助平夫 同同同同福 同同同同島 同同同同縣 同同同同平		鈴阿有有橋佐鈴 木部我我本藤木 義文省平治勝 令勇三三男男美 同同同同同同福 同同同同同同島 同同同同同同縣 同同同同同同平		星佐班橋伊味岩 恒藤目本藤戶井 三作重俊一喜 同同同同同同久 同同同同同同治 同同同同同同福 同同同同同同島 同同同同同同縣 同同同同同同平		須根本橫根須 藤藤本本清喜 代二 同同同同福 同同同同島 同同同同縣 同同同同平		
芳和尙小高安佐 賀田針崎藤藤 良政忠由清榮 三衛門一治榮 同同同同福 同同同同島 同同同同縣 同同同同平		鈴箭安橫根須 木內田田本藤 彥四正市清喜 三郎男藏作代 同同同同同同二 同同同同同同福 同同同同同同島 同同同同同同縣 同同同同同同平		吉瀧設 田口樂 欣寅勝 三三見 同同同福 同同同島 同同同縣 同同同平				

三

和 田 貢 福 島 縣 平 民	石 井 茂 雄 福 島 縣 平 民	西 間 木 朝 治 同 福 島 縣 平 民	石 塚 忠 秋 同 福 島 縣 平 民	向 井 辰 治 福 島 縣 平 民	長 谷 川 武 雄 同 福 島 縣 平 民	同	同	教	書	學	授	同	書	同	同		
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全		
十 三 年	十 一 年	十 一 年	十 一 年	十 一 年	十 一 年	十 一 年	十 一 年	十 一 年	十 一 年	十 一 年	十 一 年	十 一 年	十 一 年	十 一 年	十 一 年		
五 月 卅 一 日	九 月 廿 九 日	八 月 廿 二 日	三 月 卅 一 日	三 月 卅 一 日	三 月 卅 一 日	三 月 卅 一 日	三 月 卅 一 日	三 月 卅 一 日	三 月 卅 一 日	三 月 卅 一 日	三 月 卅 一 日	三 月 卅 一 日	三 月 卅 一 日	三 月 卅 一 日	三 月 卅 一 日		
宮 城 縣 佐 沼 中 學 校	福 島 縣 師 範 學 校 教 諭	京 都 府 舞 鶴 高 等 女 學 校	白 河 中 學 校 書 記	白 河 町 醫 師	西 白 河 五 箇 小 學 校 長	東 白 河 農 業 學 校 書 記	死 亡	同 上	富 山 縣 立 上 市 農 學 校 教 諭								
七 四 ヶ 月 年	一 ヶ 月 年	十 一 ヶ 月 年	二 ヶ 月 年	一 ヶ 月 年	二 ヶ 月 年	六 ヶ 月 年	九 ヶ 月 年	十 三 ヶ 月 年	六 ヶ 月 年	七 ヶ 月 年	五 ヶ 月 年	五 ヶ 月 年	十 五 年	十 年	十 五 年	大 正	
中 島 小 太 郎	岡 崎 吉 次 郎	埴 壽 次 郎	村 越 慶 三	關 格 之 助	仁 平 忠 六 郎	小 林 馬 太 郎	村 田 猛	野 村 岩 夫	小 川 熊 男								
平 廣 島 縣 民	平 富 山 縣 民	平 茨 城 縣 民	平 福 島 縣 民	上 福 島 縣 民	同	平 福 島 縣 民	上 福 島 縣 民	平 福 島 縣 民	上 福 島 縣 民	上 福 島 縣 民	上 福 島 縣 民	上 福 島 縣 民	上 福 島 縣 民	上 福 島 縣 民	上 福 島 縣 民	上 福 島 縣 民	上 福 島 縣 民

七、現在生徒

(二十八名)

三

(四) 本科第一學年 (五十名)

添田文太郎 福島縣平	佐久間七郎 福島縣平	春山德左衛門 福島縣平	星野誠一 福島縣平
大田敏正 同	折笠健男 同	小山敬二 同	和野道之助 同
柏木武夫 同	横山信康 同	吉成善二 同	吉田正直 同
高田諭夫 同	丹内正修 同	根本文雄 同	熊田義正 同
氏家精一 同	草野敏美 同	草野文雄 同	眞船健治 同
熊田集人 同	山田慶信 同	山寺豐吉 同	小藤博 同
小拔三郎 同	深谷勝一 同	古川國二 同	佐藤 同
小林直明 同	古侯武藏 同	安藤義重 同	佐藤 同
佐久間正美 同	佐久間一藏 同	三瓶常四郎 同	白藤重 同
西東彌傳治 同	木藤一雄 同	三吉泰人 同	伊藤 同
鹽田惣作 同	首藤龜雄 同	鈴木義雄 同	藤 同
石澤吉雄 同	上妻雅之 同	岩崎六郎 同	藤 同

(五) 本科第二學年 (四十三名)

薄井性三 福島縣平	石幡吉明 福島縣平	矢吹恒郎 福島縣平	鈴木正壽 福島縣平
鈴本安信 同	古川清隆 同	和正文吉 同	柳沼久誠 同
佐藤要一 同	荒井隆 同	松本正敏 同	大竹久雄 同
大河原浩一 同	車田鼎 同	小針源兵衛 同	澤田正幸 同
大塚正夫 同	渡邊清四郎 同	三浦源一 同	角田利完 同
大越成 同	佐久間浩 同	石井俊一 同	大野俊雄 同

(六) 本科第三學年 (三十七名)

邊見利治 福島縣平	小林平 福島縣平	鈴木喜佐二 福島縣平	山本久吉 新潟縣平
坂本市郎 同	吉野眞一 同	飯島泰治 同	岩崎保壽 福島縣平
大島實 同	大槻保衛 同	今泉一夫 同	白澤昇 同
佐久間貢 同	川名弘司 同	相樂良雄 同	岡部正美 同
佐藤貞治 同	渡邊彌一 同	橋本要人 同	

(七) 實業補習學校教員養成所 (四十名)

三島木正治 福島縣平	熊井德衛 福島縣平	平山武夫 福島縣平	山野邊芳男 福島縣平
遠藤一郎 同	渡邊正道 同	佐久間武雄 同	星吹嘉藏 同
松本三代 同	佐久間清三 同	大高廣治 同	矢吹嘉藏 同
保志武夫 同	間弓幸藏 同	綠川正 同	前林一夫 同
北島雄太郎 同	曾根幸章 同	増子七郎 同	三部吉五郎 同
渡邊春三 同	宗像鶴一 同	添田義一郎 同	白鳥哲哉 同
大川福重 同	水野鶴勉 同	國分午良 同	大木吉丸 同
白石義光 同	鹿山英雄 同	柳沼昇 同	
佐藤一郎 同	西間木正 同	大竹茂義 同	
岡部豐 同	深谷榮己 同	秋元好夫 同	

五十嵐光 福島縣平	西田重輝 福島縣平	富田吉 福島縣平	小河利男 福島縣平
芳賀政美 同	星田菊雄 同	大堀庄吾 同	小澤重一 同
濱名勉 同	本間富治 同	大木昇 同	小野平男 同

合計	北海道	栃木縣	新潟縣	宮城縣	若松市	相馬郡	双葉郡	石城郡	西白河郡	東白川郡	石川郡	田村郡	河沼郡	大沼郡
六	1	1	1	1	1	1	1	1	七	1	三	一	1	1
七	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	三	1	1	1
三	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	二	1	1	1
五	1	1	1	1	1	1	1	三	九	1	六	八	1	1
四	1	1	1	1	1	1	1	一	八	三	八	五	一	1
七	1	1	1	1	1	1	1	1	五	三	五	七	1	1
四〇	1	二	1	1	一	四	1	1	二	二	二	一	三	二
一四六	1	三	1	1	一	四	1	四	四	八	二	三	四	二
三	1	1	1	1	1	1	1	四	六	六	1	五	1	1

郡市別	學年			教成所員	計	在舍生
	第一學年	第二學年	第三學年			
耶麻郡	1	1	1	3	5	1
北會津郡	1	1	1	3	1	1
南會津郡	1	1	1	3	1	1
岩瀬郡	1	1	1	3	九	六
安積郡	1	1	1	3	八	1
安達郡	1	1	1	3	四	1
伊達郡	1	1	1	3	九	二
信夫郡	1	1	1	3	一	1
加須我峯	二	福島縣平	高橋	作	福島縣平	
金澤種次	同	同	武藤	武	同	
龜岡重吉	同	同	遠藤	三	同	
玉手孝同	同	同	山口	芳	同	
田崎武美	同	同	山田	同	同	
竹澤貞重	同	同	前田	同	同	
那知上喜惣智	同	同	真船	同	同	
佐藤	好	同	佐藤	喜代	同	
穴澤	留	八	荒井	忠	秋	
阿部	貞	吉	小林	榮	同	
小	林	同	眞船	博	志	
眞船	博	志	眞船	博	志	
佐川	勇	福島縣平	佐川	勇	福島縣平	
三橋	勝	江	三橋	勝	江	
鈴木	信	甲	鈴木	信	甲	
管野	哲	雄	管野	哲	雄	
鈴木	由	市	鈴木	由	市	
後藤	次	郎	後藤	次	郎	
高	山	光	高	山	光	

(八) 現在生徒地方別

(九) 本科第一學年入學志願者入學者地方別

年 度	計		度年二全		度年三全		度年四全		度年五全		度年六全		度年七全		年 度	市 別
	入 學 者	志 願 者	入 學 者	志 願 者	入 學 者	志 願 者	入 學 者	志 願 者	入 學 者	志 願 者	入 學 者	志 願 者	入 學 者	志 願 者		
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	信	郡
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	伊	郡
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	安	郡
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	安	郡
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	岩	郡
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	南	郡
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	北	郡
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	耶	郡
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	大	郡
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	河	郡
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	東	郡
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	西	郡
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	石	郡
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	田	郡
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	石	郡
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	雙	郡
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	若	市
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	枋	縣
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	鹿	縣
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	茨	縣
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	東	市
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	新	縣
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	宮	縣
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	北	道
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	計	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	計	

年 度	種 別	計		度年二全		度年三全		度年四全		度年五全		度年六全		度年七全	
		入 學 者	志 願 者	入 學 者	志 願 者	入 學 者	志 願 者	入 學 者	志 願 者	入 學 者	志 願 者	入 學 者	志 願 者	入 學 者	志 願 者
一	高等小學	三	六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	實業學校	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	乙種修業者	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	實業補學校	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	修業者	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	中學	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	修業者	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	高等小學	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	修業者	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	其他	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	計	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	計	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

種別	最大	最小	平均	(一) 生徒年輪別	(大正十三年十二月現在)	計		年度二全		年度三全		年度四全		年度五全	
						入學者	志願者	入學者	志願者	入學者	志願者	入學者	志願者	入學者	志願者
第一修年科	十一月	十一月	四月			四〇六	六七三	二六	二六	三三	三三	三七	三七	三六	三六
第二修年科	十一月	十一月	五月												
第三修年科	十一月	十一月	六月			二	二	九	二	二	三	四	一	一	五
第一學年科	八月	十一月	九月			四	三	二	三	二	二	一	一	一	一
第二學年科	八月	十一月	十月			三	元	二	三	三	三	一	三	一	二
第三學年科	五月	十一月	十一月			九	九	一	一	一	一	三	三	四	七
養成所	十一月	十一月	十二月			三	六	一	二	四	五	一	一	一	一
						五	九	三	三	四	五	四	四	四	五

三五

年度六全		年度七全		年度八全		年度九全		年度十全		年度十一全		年度十二全		年度十三全	
入學者	志願者	入學者	志願者	入學者	志願者	入學者	志願者	入學者	志願者	入學者	志願者	入學者	志願者	入學者	志願者
四	六	四	四	元	元	元	元	三	三	三	三	三	四	九	二
二	二	二	三	八	〇	六	四	八	八	三	三	六	九	五	六
一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一	一	一	一	四
一	一	三	三	二	二	二	二	二	二	三	五	一	一	一	二
一	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	六	六	三	九	二	六	七	九	六	二	三	一	六
五	三	四	六	五	四	五	六	六	九	九	九	二	三	一	一

三四

(一三) 半途退學生ニ關スル調 (本科)

種別	自己ノ都合ニ依リ退學ヲ許可シタル者					死	轉學	退學ヲ命シタル者	病氣ノ爲メ退學ヲ許可シタル者	計
	大正十三年	大正十二年	大正十一年	大正十年	大正九年					
計	七	五	九	二	三	一	一	一	一	二七
農業者	二	二	二	一	一	一	一	一	一	一四
商業	一	一	一	一	一	一	一	一	一	七
官吏	一	一	一	一	一	一	一	一	一	七
醫師	一	一	一	一	一	一	一	一	一	七
職別	一	一	一	一	一	一	一	一	一	七
第一學年	一	一	一	一	一	一	一	一	一	七
第二學年	一	一	一	一	一	一	一	一	一	七
第三學年	一	一	一	一	一	一	一	一	一	七
第一學年	一	一	一	一	一	一	一	一	一	七
第二學年	一	一	一	一	一	一	一	一	一	七
第三學年	一	一	一	一	一	一	一	一	一	七
養成所	一	一	一	一	一	一	一	一	一	七
計	一	一	一	一	一	一	一	一	一	七

(一四) 保護者トノ續柄ニ關スル調 (大正十三年十二月)

種別	種別							計	其他	僧侶	教員
	第一學年	第二學年	第三學年	第一學年	第二學年	第三學年	養成所				
計	三	一	二	一	二	一	一	元	一	一	一
其他	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
七男	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
六男	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五男	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
四男	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三男	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二男	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
長男	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
戶主	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
種別	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
第一學年	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
第二學年	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
第三學年	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
第一學年	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
第二學年	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
第三學年	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
養成所	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

計 二六 二七 三三 三〇 三三 三六

(一五) 在學中學資概算
一、毎月殆ント一定ノ割合ヲ以テ要スルモノ

授業料	金貳圓貳拾錢
校友會費	金貳圓
食費	金五拾錢
舍費	金五拾錢
文具其他雜費	金參圓

食費及雜費等ハ季節及物價ノ高低ニ依リ増減ハ免カレス

二、入學ノ際又ハ學年ノ始メニ於テ要スルモノ

夏服	金五圓五拾錢
冬服	金拾圓
制服	金貳圓七拾錢
靴及ゲートル	金八圓五拾錢
實習用鐵及鎌	金四圓五拾錢
三、教科書	金四圓五拾錢

被服類ハ品質ノ上下ニ依リ價格ノ相違ヲ生スルモ上掲ハ中等品ノ價格ナリ
以上ハ在學中ノ使用ニ耐フ

專修科 第一學年	金八圓
專修科 第二學年	金拾圓
專修科 第三學年	金拾參圓
本科 第一學年	金拾參圓
本科 第二學年	金拾四圓
本科 第三學年	金拾五圓
教員養成所	金貳拾五圓

(一六) 修學旅行ノ狀況

學年	學期	日期	視察箇所
本科第三學年 專修科第三學年		自十月九日 至同十六日 八日間	愛知縣 名古屋離宮 三重縣 内外宮、徵古館、農業館、二見浦 奈良縣 春日神社、大佛殿、帝室博物館、三笠山 大阪府 大阪城、府立農學校、大阪築港、天滿市場 京都府 桃山御陵、孝明天皇御陵、乃木神社、伏見稻荷社、清水寺、 圓山公園、智恩院、インクライン、二條城、金閣寺、東本願寺 靜岡縣 農商務省園藝試驗場、清見寺 神奈川縣 江ノ島、鶴ヶ岡八幡宮、鎌倉宮 東京府 明治神宮、帝國大學農學部、農商務省農事試驗場、泉岳寺、 上野公園

(一七) 生徒身證檢査統計

(本校) 大正十三年四月

元

及力視	柱春		養營			評概育發			團胸	重体	長身	年
	遠視	正視	變正	丙	乙	甲	丙	乙	甲	平總	平總	
										均長	均重	
1	4	9	1	1	3	3	8	3	30, 37	14, 400	133, 267	13年
1	1	9	1	1	2	3	7	4	22, 26	54, 215	133, 900	14年
1	3	5	1	1	5	8	3	1	22, 25	36, 214	200, 870	15年
1	3	4	1	1	2	5	3	2	22, 20	12, 446	65, 910	16年
1	4	7	2	1	3	8	3	1	22, 21	13, 645	53, 270	17年
1	1	6	2	1	2	4	5	2	22, 21	13, 795	15, 275	18年
1	1	3	1	1	2	1	2	1	22, 26	7, 68	21, 100	19年
1	1	3	1	1	1	1	1	1	22, 26	14, 533	43, 600	20年
1	1	2	1	1	1	1	1	1	22, 27	8, 25	26, 600	21年

検査人員	監察ヲ要スル者	其他ノ疾病異常	歯牙齶齒アルモノ	耳疾	聽力障害アルモノ	疾其他	眼トラホーム	神検査人員	色異常		状態		屈折			
									一	兩	一	兩		近視	亂視	及其他
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
1	1	1	5	1	1	1	5	1	1	1	1	4	1			
天	1	1	3	1	1	2	5	天	1	1	1	3	2	1		
五	1	1	9	1	1	5	4	五	4	1	1	3	9	1		
元	1	1	9	1	1	1	5	元	4	1	1	4	8	1		
二	1	1	3	1	1	1	2	二	1	1	1	1	4	1		
三	1	1	1	1	1	1	3	三	1	1	1	1	1	1		
三	1	1	3	1	1	1	3	三	1	1	1	1	2	1		
二	1	1	1	1	1	1	2	二	1	1	1	1	1	1		

生徒身體検査統計

(教員養成所) 大正十三年四月

検査人員	監察ヲ要スル者	其他ノ疾病異常	歯牙齲蝕アルモノ	耳疾	聴力障害アルモノ	疾 其 他	眼 ト ラ ホ ム	神 檢 査 人 員	色 異 常	態 狀		折 屈	
										其 他	亂 視 及 兩 眼	近 視	
												一 眼	兩 眼
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	

及 遠 視 兩 眼	視 正 視		柱 脊 彎 正	養 營			評 概 育 發	胸 圍 平 總 均 長	體 重 平 總 均 重	身 長 平 總 均 長				
	一 眼	兩 眼		丙	乙	甲				丙	乙	甲	平	總
一	二	九	一	一	一	五	五	五	二	七	七	十八年		
二	一	二	一	一	一	一	三	二	二	九	二	十九年		
一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	六	二	二十年		
一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	七	一	廿一年		
一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	八	一	廿二年		
一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	九	一	廿三年		
一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	〇	一	廿四年		
一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	〇	一	廿五年		
一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	〇	一	卅九年		
一	一	一	一	一	一	一	一	一	二	〇	一	年		

八、卒業生氏名

乙種第一回卒業生

(大正三年三月)

十九名

鈴木茂吉
永山忠雄
小松繁
大塩金定
荒井重爾

深谷良文
堀江光次
緑川勝雄
緑川利雄
矢内留之助

深谷元一
加藤清
平山政吉
渡邊吉一
小松信吉

小針久四郎
吉田勝彦
吉野貞彦
大原末藏

乙種第二回卒業生

(大正四年三月)

八名

尾股長雄
鈴木喜平

和知七郎
鈴木文太郎

新井正治
鈴木傳次

大森光義
甲賀準雄

甲種第一回卒業生

(大正五年三月)

三十六名

平野豊二
高橋徳治
吉田重雄
鈴木良雄
鈴木久四郎
關根菊次
長倉與重
小松平一

須藤末藏
鹽田喜一
若月可直
吉田誠
瀧田清
小林喜一郎
白井浩
吉成忠孝

橋本市二
志賀榮
齋藤孝
大森圭一
宗像列美
金田芳美
渡邊忠彰
藤井正策

遠藤六兵衛
小平康平
小金祐彌
小貫正雄
藤田正覺
大森舜治
眞船次良
近藤茂平

寺島長

關根武

穂積進

原源

甲種第二回卒業生

(大正六年三月)

二十九名

尾形乙雄
佐川文雄
齊藤勸吉
荻野直貞
佐藤義清
野口義郎
吉田義一
岡崎泰一

西間久孝
齊藤馨
村社尙二
緑川茂
石田壽雄
大原末藏
箱崎隆雄

柳沼啓一
富田益三郎
繩田喜代太
北野喜代己
齋藤喜助
渡邊彌五郎
蓬田清

會澤智雄
宗形貞喜
本柳傳七
片野平三郎
小池二郎
高橋義作
綠川佐久彌

甲種第三回卒業生

(大正七年三月)

二十五名

伊藤文右衛門
渡邊宗正
安田清
大森光義
白岩正治
佐藤信一
鈴木重壽

人見重爾
齋藤喜義
推根織彌
永山秀雄
蓮沼常夫
北島清人

鈴木宇志三
穂積芳榮
馬場利夫
兒島榮一
遠藤長五郎
加藤惠一

梅谷忠良
角田孝左衛門
石井重良
齋藤貞夫
猪狩千七郎

甲種第四回卒業生

(大正八年三月)

三十三名

岩澤縁

齋藤榮勝

佐川貢

佐藤靜雄

安田純夫 五十嵐重一 内山重一 長島博叶 芳賀博男 郷賀良信 吉田丑之助 大森修

玉川直喜 佐藤辰助 小濃忠雄 小山田忠雄 矢内稔 菊地貞雄 安田字林

加藤修一 近藤義男 上野常吉 藤田正雄 大森聖道 佐藤滿

馬場友賢 大野忠佐 菊地伊 藤井己平 田中尋己 仲西新平 大戸清房

甲種第五回卒業生 (大正九年三月) 三十七名

須藤留藏 高橋義一 近藤永昌 仙波直一 服部小七郎 今井千代 舟橋精一 上野義正 佐藤政吉 渡部功

富山忠吉 矢部政重 大森宗重 龜山鐵雄 矢田政雄 郡司政明 安藤善忠 三津間菊男 滋井清

金澤忠威 矢部公步 邊見友江 大木昇 眞船幸祐 眞分秀三 國像武雄 宗像武雄 鈴木忠司 田崎武司

橋本半彌 小林卓樹 深谷元内 大竹傳兒 矢吹昌壽 錦木好藏 綠川庄助 白井常清 和知東

甲種第六回卒業生 (大正十年三月二十二日) 三十七名

和知延義 菅田章慶 大谷一郎 草野幸明

大高兵榮 中健治 金澤光雄 田崎懿 角田政之助 大木四郎 永沼要一郎 渡部和三郎 相良三郎

高山義雄 山崎幸作 渡邊長五郎 遠藤榮一 玉川靜雄 賀入常盛 入江榮

植田守成 鹽本正志 坂本一之 青部慶壽 岡島字一 福崎武義 岡田真雄

熊田萬珪 高橋於夫 双石正資 五十嵐勇雄 遠藤三郎 穗積三郎 大塚義弘 加藤弘

甲種第七回卒業生 (大正十一年三月十七日) 三十名

荒明寅千代 二階堂哲三 金田保美 藤井威夫 松本玉置 秋山清一 後藤良一 荒井敬助

鈴木盈一 佐藤好一 佐藤平治 赤津三郎 本柳卯吉 相笠貞信 瓜生恒雄

眞船龍平 佐藤孝次 關本寅次 深谷久政 渡邊俊光 岡部賢充 藤田高充

三森多藏 金澤貞一 菊地貞一 折笠豊一 藤田清一 白岩覺三郎 稜川勝彌

甲種第八回卒業生 (大正十二年三月十七日) 三十一名

馬場四郎 渡邊熊三郎 脇坂保太郎 歌川毅 野崎久一郎 眞船喜久彌 藤田利作

荒井 幸三郎 大木 敦枝 佐藤 善清 深谷 已芳
 真船 直彦 平川 三郎 萩野 完一 伴谷 敬三
 植田 英明 佐藤 辰司 邊見 庄壽 田代 高治
 山田 芳明 坂路 勝美 吉田 幸雄
 本柳 喜作 渡邊 良雄 根本 操

甲種第九回卒業生 (大正十三年三月十七日) 三十四名

澁井 健一 白井 貢 早川 理學 前田 政義
 大和田 清重 加須 我峰 佐川 吉英 武藤 秋武
 佐藤 儀四郎 眞船 鈞壽 磯部 吉作 荒井 忠政
 綠川 儀雄 眞船 博志 高橋 榮一 西田 重輝
 人見 德次郎 高木 菊藏 小橋 修一 青砥 重輝
 薄井 清郎 高橋 光昌 關根 房雄 伊藤 俊雄
 鈴木 常徳 芳賀 政美 新井 久要 鈴木 由衛
 佐藤 茂 菅野 信正 關野 久要 須藤 利治
 齋藤 茂 菅野 信正 關野 久要 須藤 利治

專修科第一回卒業生 (大正十二年三月十七日) 三十八名

坂本 美吉 小針 久利 昌政 肇 遠藤 節
 芳賀 美福 關根 長次郎 星 政藏 箭內 雄
 神尾 一實 鳴原 平吉 須藤 利治 佐久間 正美
 小神 林 鳴原 平吉 須藤 利治 佐久間 正美

西間 貞春 山田 隆雄 小川 勝德 大槻 勝實
 眞壁 善次 圓谷 正雄 阿部 菊藏 佐藤 福造
 岩崎 保壽 有我 光雄 柳沼 今朝 道上 福造
 鈴木 庄介 根本 貞春 折笠 多利五郎 添田 良元
 小坂 橋利昇 安藤 善壽 永山 重好

專修科第二回卒業生 (大正十三年三月十七日) 三十五名

柳沼 勝志 小西 貞治 小林 政馨 有我 嘉久平
 岩崎 六郎 鈴木 義雄 安田 勝三 安田 勝三
 有我 英雄 柳沼 重信 村上 林隆
 箭內 英雄 眞壁 惣治 森助 光春 齋藤 清重
 天目 幸幹 眞壁 惣治 西間 喜一郎 齋藤 清重
 須釜 富幸 佐藤 眞治 西間 喜一郎 齋藤 清重
 添田 康太郎 橋本 幸太郎 渡邊 綾雄
 橋本 長太郎 根本 清友 渡邊 綾雄
 圓谷 康治 西間 清友 渡邊 綾雄

梅村 豊雄 山田 登 山内 秀雄 白石 國治
 石井 内蔵 田崎 秀夫 芳賀 良衛 鈴木 信治
 藤丸 常吉 吾妻 貞彦 國井 精 五野 井長
 中丸 庄作 菅野 貞彦 國井 精 五野 井長

農業教員養成科第一回卒業生 (大正九年三月) 二十二名

兎

鈴木重壽

仲谷勝記

皆川武夫

薄井秀雄

農業教員養成科第二回卒業生

(大正十年三月)

三十七名

渡邊貞二 前川賢一 服部賢助 増子昌視 佐藤次作 鈴木覺鋪 荒城幸七 赤城幸七 丹内幸七 前川正實

富山忠吉 大和田常吉 大友通譽 星友貞吾 森屋七郎 和知七郎 新井田一 山野邊一 吉田武雄

鈴木幸之助 松田善一郎 五十嵐庄市 蓮沼長五郎 長谷川德雄 矢吹昌壽 新田清孝 星田西三 佐藤勉男

高倉辰五郎 渡邊美登理 高橋常清 白井久平 岩淵之平 瓜生甚之 宗像武雄 大河原重次 花房由真

農業補習學校教員養成所第一回卒業生

(大正十一年三月)

十七名

佐久間喜壽 小川繁春 高橋於兔夫 大和田好榮 入江榮

陣野原清春 岡部慶壽 矢内久彌 玉川靜男

大谷一郎 寺内廣 尾股長雄 五十嵐真司

武藤一朗 押見嵩 高坂文哉 森正雄

農業補習學校教員養成所第二回卒業生

(大正十二年三月)

二十八名

片野正雄 水野敬二 關根貞義 吉田義雄 本柳卯吉 赤津平男 小澤德

永山秀雄 渡邊源重郎 木村彌會吉 戸井田彌會吉 阿部吉三 佐藤久吉 川崎武雄

渡邊利重 安藤善忠 坂川勝彌 圓通政善 加藤惠一 嘉藤三郎 白石幸雄

大内覺次 濱名政壽 秋山清一 鹿目謙藏 鈴木永義 玉川房太

農業補習學校教員養成所第三回卒業生

(大正十三年三月)

四十名

三森清忍 齋藤芳夫 松本枝夫 大木數夫 岡崎力巨 石橋巨郎 大賀太一 戸内丸丸 遠藤文雄 大石武雄

今井惠長 田部清江 野崎久郎 大野好郎 佐藤武雄 佐々木三雄 中本千代吉 根山千代繁 安藤龜一郎 鹽田甲子次郎

海村薰一郎 片岡五郎 井戸沼啓 邊見庄壽 手邊忠夫 渡邊久一 鈴木留次郎 深谷寅雄 三浦成志 石井武夫

樋口義光 波部鏡心 中塚光信 松本龜之助 須藤勇三 鈴木木三郎 平川高充 藤田高三郎 矢内高幹 本多寂舜

九、教科用圖書

專修科第一學年

(大正十三年度)

外國語	全作物園	肥畜全	農畜全	養蠶	林醫	獸醫	學科	修身科	國語	法國語	工作物	全圖				
ニュールランゲイヂ、リーダー	遺傳學教科書	改訂最新畜產教科書通論	農產製造學教科書	蠶種學教科書	改正林學教科書	口述	實業補習學校教員養成所	師範學校修身教科書	教育學概論	最近小學校管理法	師範學校國語漢文教科書	法制經濟新教科書	中等育種學	修正作物各論教科書	改訂蔬菜教科書	改訂果樹學教科書
二	三	各論	上	各論	口述	二部用	名	名	名	名	名	名	名	名	名	名
鹽谷榮	全開成館	明成館	成美堂	警眼社	博文館	春秋書院	發行所	實文館	全實文館	全實文館	全實文館	全實文館	全實文館	全實文館	全實文館	全實文館
野原茂	野原茂	野原茂	野原茂	野原茂	野原茂	野原茂	野原茂	野原茂	野原茂	野原茂	野原茂	野原茂	野原茂	野原茂	野原茂	野原茂
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
佐々木祐太郎	佐々木祐太郎	佐々木祐太郎	佐々木祐太郎	佐々木祐太郎	佐々木祐太郎	佐々木祐太郎	佐々木祐太郎	佐々木祐太郎	佐々木祐太郎	佐々木祐太郎	佐々木祐太郎	佐々木祐太郎	佐々木祐太郎	佐々木祐太郎	佐々木祐太郎	佐々木祐太郎
岩住良治	岩住良治	岩住良治	岩住良治	岩住良治	岩住良治	岩住良治	岩住良治	岩住良治	岩住良治	岩住良治	岩住良治	岩住良治	岩住良治	岩住良治	岩住良治	岩住良治
桑名伊之吉	桑名伊之吉	桑名伊之吉	桑名伊之吉	桑名伊之吉	桑名伊之吉	桑名伊之吉	桑名伊之吉	桑名伊之吉	桑名伊之吉	桑名伊之吉	桑名伊之吉	桑名伊之吉	桑名伊之吉	桑名伊之吉	桑名伊之吉	桑名伊之吉
堀正太郎	堀正太郎	堀正太郎	堀正太郎	堀正太郎	堀正太郎	堀正太郎	堀正太郎	堀正太郎	堀正太郎	堀正太郎	堀正太郎	堀正太郎	堀正太郎	堀正太郎	堀正太郎	堀正太郎
川瀬惣太郎	川瀬惣太郎	川瀬惣太郎	川瀬惣太郎	川瀬惣太郎	川瀬惣太郎	川瀬惣太郎	川瀬惣太郎	川瀬惣太郎	川瀬惣太郎	川瀬惣太郎	川瀬惣太郎	川瀬惣太郎	川瀬惣太郎	川瀬惣太郎	川瀬惣太郎	川瀬惣太郎

十、設備概要

土肥	肥料	病昆	畜養	林養	教養	數教	經數
最近土壤學教科書	肥料新教科書	改訂農作物病學教科書	增訂農用昆蟲教科書	改訂最新畜產教科書各論	蠶業教科書	上原林學教科書	口述
川瀬惣太郎	古谷榮茂	佐々木祐太郎	堀正太郎	桑名伊之吉	岩住良治	土屋泰	上原敬二
明文堂	成美堂	全成	全成	警眼社	明文堂	郁民書院	

本校	校內	校舍	總數
實習地	畑	水	田
練果桑	習樹	畑園	田
二千五百坪	二千四百七十一坪	二千八百坪	五千四百二十坪
五千四百二十五坪	八千五百十五坪	一万三千八百八十六坪	

科	目	十一、經費豫算				
		大正十三年度	大正十二年度	大正十一年度	大正十年度	大正九年度
教育費		40,093.50	39,502.80	39,502.80	29,502.80	25,452.80
農學校費		30,752.70	30,097.90	30,322.80	29,322.80	23,852.80
俸給		10,280.00	19,887.00	18,552.00	26,022.00	21,622.00

五

種別	員數	金額	種別	員數	金額	種別	員數	金額
修身漢學	25	5,140.00	講堂	72	1,300.00	圖書	15	1,900.00
地學	3	1,500.00	養蠶室	55	9,600.00	器具器械標本類	15	4,100.00
物理化學	3	1,500.00	食堂	54	9,600.00	其他ノ器具	15	4,100.00
博物學	3	1,500.00	衛生徒控室	66	11,800.00	計	15	4,100.00
農學	3	1,500.00	其他	66	11,800.00	計	15	4,100.00
作農博	3	1,500.00	其	66	11,800.00	計	15	4,100.00
肥料	3	1,500.00	其	66	11,800.00	計	15	4,100.00
畜產及農夫室	3	1,500.00	其	66	11,800.00	計	15	4,100.00
鏡器室	3	1,500.00	其	66	11,800.00	計	15	4,100.00

(口) 器具器械標本類 (大正十三年二月)

(三) 圖書及器具器械標本類 (大正十三年二月現在)

(一) 圖書

總 內 建 坪 六百八十坪

天

校長給	二,四〇〇,〇〇〇	二,三三〇,〇〇〇	二,一〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
教員給	一五,九一〇,〇〇〇	一五,五六〇,〇〇〇	一四,四〇〇,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
書記給	一,七〇〇,〇〇〇	一,七〇〇,〇〇〇	一,六七〇,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
舍監加俸	二七〇,〇〇〇	二七〇,〇〇〇	二五〇,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇	一,〇〇〇
雜給	三,六七九,四九五〇	三,六二四,四五〇	四,〇四二,五〇〇	三,五八〇,〇〇〇	二,七九〇,五〇〇	一,〇〇〇
雇教師給	八六〇,〇〇〇	八六〇,〇〇〇	八六〇,〇〇〇	八六〇,〇〇〇	五六〇,〇〇〇	一,〇〇〇
雇員給	九〇〇,〇〇〇	九〇〇,〇〇〇	九〇〇,〇〇〇	八三六,〇〇〇	五六〇,〇〇〇	一,〇〇〇
給仕給	一四〇,〇〇〇	一四〇,〇〇〇	一四〇,〇〇〇	一四〇,〇〇〇	一七〇,〇〇〇	九七〇,〇〇〇
小使給	八六〇,〇〇〇	八六〇,〇〇〇	八六〇,〇〇〇	八六〇,〇〇〇	一四〇,〇〇〇	八八〇,〇〇〇
小使被服費	九四九〇	九四九〇	一〇,五〇〇	一〇,五〇〇	一〇,五〇〇	一〇,五〇〇
臨時雇入夫賃	三六〇,〇〇〇	三六〇,〇〇〇	三六〇,〇〇〇	三六〇,〇〇〇	五〇〇,〇〇〇	五〇〇,〇〇〇
醫師手當	六〇〇,〇〇〇	六〇〇,〇〇〇	六〇〇,〇〇〇	五五〇,〇〇〇	五〇〇,〇〇〇	五〇〇,〇〇〇
旅費	五四〇,〇〇〇	四八〇,〇〇〇	八九〇,〇〇〇	四八〇,〇〇〇	四三〇,〇〇〇	四三〇,〇〇〇
校備品費	六,五三三,八二〇	六,六六三,四〇〇	七,五六六,八〇〇	五,〇九四,〇〇〇	四,九一九,〇〇〇	四,九一九,〇〇〇
消耗品費	一,九七二,〇〇〇	一,九七二,〇〇〇	七〇〇,〇〇〇	一,一三〇,〇〇〇	一,五五〇,〇〇〇	一,四〇〇,〇〇〇

印刷費	三九〇,〇〇〇	三九〇,〇〇〇	一五五,〇〇〇	一七〇,〇〇〇	三九〇,〇〇〇
點燈料	一五八,〇〇〇	一五八,〇〇〇	一四二,〇〇〇	八〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇
肥料費	一五三,三六〇	一五三,三六〇	一,一九四,五〇〇	九七五,〇〇〇	九七五,〇〇〇
桑葉購入費	二四〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
通信運搬費	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一七九,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇
贈式費	一六二,〇〇〇	一六二,〇〇〇	一六二,〇〇〇	一六二,〇〇〇	一六二,〇〇〇
卒業式費	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
雜費	五七,七六〇	五七,七六〇	五七,七六〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇
國庫納金	一三,〇〇〇	一三,〇〇〇	一〇,五九〇	一五,〇〇〇	一三,〇〇〇
學事諸費	八,〇六六,六〇〇	八,〇六六,六〇〇	七,七五五,〇〇〇	一五,〇〇〇	一三,〇〇〇
生徒獎學費			二,〇〇〇		
實業補習學校			七,七七七,〇〇〇		
教員養成所費	八,〇六六,六〇〇	八,〇六六,六〇〇	七,七七七,〇〇〇		
教員俸給	二,九〇〇,〇〇〇	二,九〇〇,〇〇〇	二,九〇〇,〇〇〇		
書記手當	一四〇,〇〇〇	一四〇,〇〇〇	一四〇,〇〇〇		
小使手當	一四〇,〇〇〇	一四〇,〇〇〇	一四〇,〇〇〇		

科 目	特別會計歲出經常部				
	大正十三年度	大正十二年度	大正十一年度	大正十年度	大正九年度
生徒給費	4,500,000	4,400,000	4,500,000	4,500,000	4,500,000
備品費	10,000	3,000	14,000	1,000	1,000
消耗品費	2,200,000	2,200,000	1,500,000	1,000,000	1,000,000
旅費	1,200,000	1,100,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
雜費	2,200,000	1,100,000	6,500,000	1,000,000	1,000,000
國庫納金	7,500,000	7,500,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
修繕費	3,000,000	2,200,000	3,000,000	3,000,000	1,100,000
各學校費	1,000,000	5,000	3,000,000	1,000,000	7,000
岩瀨農學校費	1,000,000	3,000	1,000,000	3,000,000	1,000,000
縣立學校職員給與金	1,200,000	1,300,000	1,300,000	1,000,000	5,500,000
勉勵賞與金	1,200,000	1,000,000	1,300,000	1,000,000	5,500,000
教育資金					5,500,000
獎勵費					5,500,000
教員講習費					5,500,000

科 目	一般會計歲入經常部				
	大正十三年度	大正十二年度	大正十一年度	大正十年度	大正九年度
講師手當					1,500,000
書記手當					700,000
小使手當					300,000
消耗品費					2,500,000
講習員手當					400,000
公立學校職員加俸金		4,900,000	7,000,000	6,000,000	3,500,000
給與金	6,000,000	4,900,000	7,000,000	6,000,000	3,500,000
雜收入	7,400,000	8,400,000	10,400,000	4,900,000	3,500,000
授業料	6,200,000	6,600,000	8,600,000	3,300,000	2,700,000
物品賣拂代	1,000,000	2,300,000	1,300,000	1,200,000	1,000,000
不用品賣拂代	10,000	2,000	2,000	4,000	1,000
農作物賣拂代	8,000,000	1,500,000	1,000,000	1,000,000	7,000,000
畜產物賣拂代	1,200,000	2,000,000	3,500,000	1,000,000	2,500,000

十二、生徒實習

(一) 實習ノ方針

實習ハ生徒ヲシテ學理ヲ實地ニ應用シ技術ヲ練リ他日農業ヲ經營スルニ當リ須要ナル實務ヲ習得セシメ且ツ身心ヲ鍛練シ勞働ノ神聖ナルヲ知ラシムルト同時ニ兼テ勤勉力行ノ氣風ヲ養ヒ以テ剛健實實ニシテ智識アリ品位アル有爲ノ農業者タルヘキ素質ヲ涵養セシムルニアリ故ニ之レカ目的ヲ達センカ爲メニ本校ニ於テハ常ニ生徒ヲシテ興味ヲ以テ之ニ往マシメントニ注意シ堆積肥料ノ製造糞尿ノ取扱ヨリ家畜飼養管理、畜兒育飼、蚕種製造、各種作物ノ栽培、收穫調製及ヒ病虫害防除、土地改良、其他農家ノ副業トシテ行ヒ得ヘキ各種ノ製造等荷モ農事ニ關係アルモノハ設備及經費ノ許ス限リ勉メテ生徒ヲシテ之レカ實地ニ當ラシメ各種技術ノ修得ヲ期シ實習ト技能ヲ涵養スルノ方針ヲ採リ以テ學科ノ應用ニ勉ム

(二) 實習種類及組織

實習ノ種類 實習ハ分テ農場實習及養蚕實習ノ二トス農場實習ハ學科終了後火曜日土曜日ヲ除キ毎日之ヲ課シ農繁期ニハ特ニ學科ヲ廢シ終日之ヲ課スモノナリ尙ホ夏期休業中ヲ四期ニ分チ全校生徒ヲ四分シ各一期間宛實習ニ從事セシム

實習ノ組織 各學年ヲ各四組ニ分チ各組ニ正副組長ヲ置キ組ノ統一ヲ圖ラシム農場管理ノ實習トシテ左ノ當番ヲ設ケ農場及ヒ校庭等ノ巡視作業ノ調査日誌ノ記載作業豫定ノ作成家畜家禽ノ管理等各種ノ任務ニ膺ラシム

(イ) 農場當番 本科第三學年生徒中ヨリ一名宛各組交替ニ之ニ充テ農場ノ巡視週番ノ批評作業ノ調査並ニ作業豫定ノ作成農場日誌記載等ノ事ヲ掌ラシメ主任ノ檢閲ヲ受クルト同時ニ當日實習ノ大畧ヲ口答セシム

(ロ) 週番 本科第三學年級ノ各組ヨリ一名宛交互之ニ充テ週番勤務中ハ他生徒ノ模範トナリ統御引率指導ノ按ニ長セシム

(ハ) 畜舍當番 第三學年及第二學年生徒中七人位宛輪番ニ當ラシメ家畜家禽ノ管理、飼料調製給與並ニ衛生

(二) 校庭當番

等ニ注意シ且ツ畜舍日誌ヲ記載シ主任ノ檢閲ヲ受ケシム
各學年ヨリ一名宛交替ニ之レニ膺ラシメ樹木及花卉ノ管理並ニ校庭ノ掃除等ニ注意セシメ日誌ヲ記載シ報告セシム

(三) 實習ノ方法

第一學年ニ於テハ各組若シクハ學年共同ニテ主トシテ普通作物ニツキ其ノ整地播種ヨリ收穫調製ニ至ルマテ一切ヲ行ハシメ以テ身心ノ練磨農具ノ使用ニ熟達セシムルヲ目的トシ傍ラ實習ノ責任ト興味トヲ與ヘツ、學科トノ統一ヲ失ハサル様ニ注意セリ

第二學年ニ於テハ普通作物特用作物栽培ノ外蔬菜ノ栽培ヲ課シ春蚕ノ飼育實習ヲ行ハシム

第三學年ハ以上ノ外更ニ果樹栽培各種農産製造ノ實習ヲ課シ秋蠶ノ飼育蠶種ノ製造、顯微鏡検査、測量及ヒ業實習ヲ行ハシメ又個人擔當圃ニ於ケル作物ノ栽培設計、其栽培成績ノ作成収支計算ノ練習ヲナサシム

其他花壇ヲ設ケ花卉其他觀賞植物ノ栽培手入ヲナサシメ該方面ノ趣味養成ニモ努ム

尙各自ニ日誌ヲ携帶セシメ農ニ於ケル各種作物ニツキ整地播種移植發芽生長成熟ノ模様管理收穫調製等一切ノ事項ヲ觀察記入セシム

(四) 實習地

本校農場ハ總反別約二町八反歩ニシテ水田一町歩畑約一町八反歩ナリ畑ハ全部構内ニアルモ水田ハ校舍ヲ去ル北西方二十町ノ所ニアリ

(五) 農場實習成績概要

面積	六畝	肥料坪當	一、五〇〇匁
整地	四月九日	人糞尿	五〇匁
播種	四月十八日	過磷酸石灰	五〇匁

菜豆	南瓜	甘藷	葱	
丸青 長菜豆	カ ス テ ラ	ハ ツ バ ー ド	子 住 葱	
一畝步	一畝步	一畝步	二畝步	
肥追 肥基 下灰 過下 堆肥 肥石 肥肥	肥追 肥基 油下 灰下 過油 堆肥 粕肥 肥石 粕肥	肥追 肥基 下灰 過米 堆肥 肥石 肥糠 肥肥	肥補 肥基 堆下 灰過 下肥 堆肥 肥肥 肥石 肥堆	肥下 下肥
二五 五六 一五 三〇	五〇 三〇 一〇 六〇	六 一五 一五 三〇	八〇 八〇 一六 三〇	六
四升五合	一ケ所 五六粒	反當 二〇貫	反當 三勺	
五月九日	五月九日	五月三十日	定植 五月十四日	
至八月十二日	乃八月二十九日 至九月三十日	十一月十二日	十二月三日	
二三〇貫	三九〇貫	三二〇貫	七〇〇貫	
追肥 株間 畦巾	摘芯 補肥 株間 畦巾	蔓返 追肥 株間 畦巾	十寄 補肥 株間 畦巾	追肥 除藥 摘蕾 一回
一回 一尺 二尺	一回 二回 四尺 六尺	一回 一回 一尺 二尺	一回 一回 四回 四回	一回

馬鈴薯	葱	葱	作物名	蔬菜類 (其ノ二)	甘藷 藍
メ ー ク キ ン	山 東 菜	結 球 白 菜	品 種 名	ア ー リ ー	ア ー リ ー
	十五步	十五步	反 別	十五步	十五步
肥基 灰過下堆 石肥肥	肥追 肥基 硫下 灰過 硫堆 安肥 石安肥	肥追 肥基 堆硫下 灰過 硫堆 肥安肥 石安肥	反 當 施 肥 量	肥補 肥基 下過大堆下灰堆 肥磷豆肥肥肥 酸粕	肥補 肥基 下過大堆下灰堆 肥磷豆肥肥肥 酸粕
一五 六〇 三〇	二〇 九五 六三 三〇	五〇 二六 五五 六三 三〇	播 種 量	一 勺 五 才	一 勺 五 才
三十八貫	五合	五合	移 播 期	四月廿一日 定植	九月十七日 下種
四月十五日	八月七日	八月七日	收 穫 期	至七月廿七日	自七月十五日
七月二十八日	十二月二日	十二月十日	反 當 收 量	四六一貫	四六一貫
四五〇貫	六〇〇貫	六五〇貫	備 考	株間 補肥 二回	畦巾 二尺五寸 株間 二尺 補肥 二回 ボルドー液撒布
株間 畦巾	追肥 株間 畦巾	追肥 株間 畦巾			
一尺 二尺	一回 三回	一回 三回			

(六) 養蠶實習概況

大根	蕃茄	胡瓜	茄子
赤聖院	ボンデローザ ゴールデンクキン	青長節成	中生山茄 外四種
一畝歩	十五歩	十五歩	一畝歩
肥追 肥基 下灰油過下堆 肥肥 肥肥	肥追 肥基 下灰下過堆 肥肥 肥肥	肥追 肥基 下硫灰下油過肥 肥安 肥粕石堆	肥追 肥基 硫過下灰下過油堆 安石肥 肥粕肥
二〇〇 二六六 二六六 二〇〇	二〇〇 二六六 二六六 二〇〇	三〇〇 二六六 二六六 二〇〇	二〇〇 二六六 二六六 二〇〇
三合	坪當 三勺	一ヶ所 五六粒	坪當 三勺
八月十九日	定植 六月三日	五月九日	定植 六月三日
十一月十七日	乃六月二十五日 至七月七日	乃七月十六日 至八月廿五日	乃七月十二日 至九月三十日
二上 二三〇 本〇	二三〇貫	二八〇貫	三五〇貫
畦巾 三尺五寸 株間 二尺 追肥 一回	畦巾 三尺五寸 株間 二尺 追肥 一回 支柱、摘心、除葉	畦巾 三尺 株間 一尺 補肥 二回 ボルドー液三回	畦巾 三尺 株間 三尺 追肥 三回

(1) 春蠶 狀況

春室實習ハ本科第二學年生徒四十三名、專修科二十一名ニ課シ(養成所生徒ニハ時々參觀セシム)各級ヲ四組ニ分チ約一匁強及ビ數蛾ヲ擔當飼育シ、外ニ一室ヲ品種飼育室ニ充テ飼育セシメ製種用蠶及製糸用蠶ノ差アルヲ知ラシメ併セテ品種ノ特性ヲ知ラシム而シテ他日埋薪法及ビ中村式條桑育器ヲ設備シ以テ經濟上ニ資セリ。

一 實習用蠶種
 (イ) 供試用蠶種
 ビオネー、歐七號、日一號、支四號、支七號、世界一原蠶種用、支四號×日一號、諸桂世
 界一×諸桂、ビオネー×歐七號、世界一普通育用、
 二 種類試驗用
 虎蠶、黑縞赤蠶、紺赤蠶、紫蠶、原九號、亞細亞黃蠶、歐三號、暗色有縞茶斑紋蠶、紺暗色茶斑紋蠶一、龍角、
 (ロ) 蠶種保護
 虎蠶、黑縞赤蠶、紺赤蠶、紫蠶、原九號、亞細亞黃蠶、歐三號、暗色有縞茶斑紋蠶、紺暗色茶斑紋蠶一、龍角、

(一) 試驗用蠶種ハ本校製造ノモノ
 (二) 實習用蠶種、縣立苧業試驗場、及ビ本校製造ノモノ

催青着手、四月卅日
 本校第一畜室ニ於テ催青器ヲ用ヒテ催青ヲナス。
 催青着手ハ四月三十日ニシテ豫定温度(七十二度半進法)五月十四日催青終ル

催青調査

種別	催青着手日	收蟻月日	催青日數	室內平均温度	發生歩合
世界一	四月三十日 午後四時	五月十二日 午前十二時	九日二十時	七六度	八七齊
全					

日一號×支四號	全	全	全	全	全	全
支七號×ビオネー	全	全	全	全	全	全
支四號	全	全	全	全	全	全
支	五月三日	五月十四日	五月十七日	五月十七日	五月十七日	五月十七日
ビオネー	四月廿八日	五月九日	五月十七日	五月十七日	五月十七日	五月十七日
備考、試験育ヲ除ク	午後四時	午前十二時	十一日二十時	七八	八七	不齊

(ニ) 消毒
 蚕室内ハ、ホルマリン法定液ヲ以テ撒布シ廊下及ビ密閉シ得サル場所ハ昇永消毒ヲ施行シ蠶具ハ主トシテ昇永消毒ニ依レリ。

(ホ) 飼育
 第一蠶室ハ種類育、第二蠶室ハ本科二年實習生、第三蠶室ハ専修科三年ノ實習生ニ充テ五月十三日掃立ヲ終ス

種別	第一齡	第二齡	第三齡	第四齡	第五齡	合計
掃立飼食月日	五月十日	五月十八日	五月廿四日	五月卅一日	六月七日	
停食終養月日	五月十七日	五月廿三日	五月廿九日	六月五日	六月十四日	
竣養月日	五月十八日	五月廿四日	五月卅一日	六月六日	六月十四日	
齡中日數	八日十時	五日十九時	六日十二時	七日	七日二時	三四日十五時
食桑日數	六日二十一時	四日十時	四日十八時	五日四時	七日二時	二八日三時

停食日數	一日十三時	一日九時	一日十八時	一日二十時	一日	六日十二時
給葉回	三六	二三	二四	二五	三二	一四〇
對蠶量一匁給桑量	三七〇	七八〇	二、三四八	一三、五〇〇	四九、六五〇	六六、六四八

本表ハ多數品種ノ經過ヲ表示ス

(ト) 春蠶期中温度観測表

種別	第一齡	第二齡	第三齡	第四齡	第五齡
最高	七七	七八	七六	七七	七七
最低	六八	六九	七〇	七四	七九
平均	七三	七二	七二	六〇	七二

(チ) 春蠶期中温度観測表

種別	第一齡	第二齡	第三齡	第四齡	第五齡
最高	七三	七八	九三	九二	八二
最低	四〇	五三	六〇	五二	五八
平均	六〇	六六	七三	六九	七三

(リ) 同上天候観測

(三) 夏蠶期中温度観測表

種別	第一齡		第二齡		第三齡		第四齡		第五齡	
	室内	室外	室内	室外	室内	室外	室内	室外	室内	室外
最高	九三	八七	九八	九〇	九二	八五	九六	八八	九三	八五
最低	七四	七四	七四	七五	七〇	七	七三	七三	七二	七二
平均	八五	七九	八八	八二	八〇	七九	八三	八〇	八〇	七八

(ホ) 夏蠶期中湿度観測表

種別	第一齡		第二齡		第三齡		第四齡		第五齡	
	室内	室外	室内	室外	室内	室外	室内	室外	室内	室外
最高	九四	八九	八四	八四	九四	八四	八九	八九	一〇〇	八九
最低	四九	六〇	四七	五八	五二	六三	四八	六一	五二	六〇
平均	七三	七八	六七	六九	七五	七五	八二	八〇	八〇	七二

(ハ) 夏蠶飼給中天气観測表

種別	第一齡	第二齡	第三齡	第四齡	第五齡	計
晴	一九	二二	一六	二〇	一二	
曇	六	一一	一二	一五	二八	
雨	一	一	一	一	九	

(ト) 夏蠶収繭調査

種別	類上		類中		類下		同切繭
	青熟	支一〇一號×支四號日一〇一號	青熟	支一〇一號×支四號日一〇一號	青熟	支一〇一號×支四號日一〇一號	
観測回数	七	八	七	七	七	七	
備考	對繭量一匁収繭量ナリ						

(七) 果樹栽培概況

果樹ノ栽培ハ主トシテ本科、専修科各三學年及ビ養成所ニ擔當セシメ實生、挿木、接木等各種蕃殖ノ手續並ニ栽培管理剪定整枝收穫ニ至ル迄實習セシメ兼テ收穫物ノ審査及ビ製造實習ニ供セリ

一、苹 二十二本
 二、梨 和梨二十一本 洋梨二十二本
 三、柿 十一本
 四、桃 四本 口種 上海水蜜桃 五、櫻桃 二十五本
 六、葡萄 四本
 七、枇杷 二本
 八、草莓 一畝歩

尙果樹園ノ間作トシテ草莓ヲ栽培ス

(八) 養畜ノ概況

目下本校ニ於テ飼養スル畜ハ左ノ如シ

名	稱	種	類	性	毛色	年齢	員數	産地
一、馬	岩瀬	號	ハツクニ	雜種	牝	栗	四	一本
								校

二、全盛陽	全	全	鹿	三	一	全
三、牛 フィン ブク イド	ホル スタ イ ン	全	白 黒	四	一	全
四、豚	ヨ ク シ ヤ 雜 種	牡	白	二	一	全
五、全	全	牝	全	二	二	全
六、山羊	ザ ー ネ ン 雜 種	牡	白	二	二	全
七、全	全	牝	全	三	一	全
八、綿羊	シ ユ ロ ブ ロ シ ヤ ー	牡	全	二	一	種 畜 場
九、全	全	牝	全	二	一	全
一〇、鶏	白 色 レ グ ホ ー ン			三	五	仙 臺
二、全	横 斑 ブ リ マ ス 、 ロ ツ ク			三	四	全
三、全	黒 色 ミ ノ ル カ			三	五	東 京
三、全	淡 色 ブ ラ マ			三	三	全
四、全	名 古 屋			二	二	本 校
五、家 兔	在 來 種			三	五	全

十三、地方實業トノ關係

本校ハ創立日尙ホ淺ク諸般ノ設備等モ亦未タ完カラリルモノアルヲ以テ事業ノ舉ケテ數フヘキモノ多カラスト雖縣下ニ於ケル實業教育ノ機關トシテ直接ト間接トヲ問ハス新界ノタメ貢獻スル所アラントス今左ニ梗概ヲ記ス

農業講演 近時各地ニ於テ青年會、同總會講演會等ノ開催セラルル者漸ク多ク隨テ講演ノ需ニ接スル事尠カラス此場合ニアリテハ可成職員出席講演ヲ試ミ彼此實業上ノ意見ノ疏通ヲ計レリ

農産物品評會 毎年一回農産物品評會ヲ開キ各種農産物並ニ之ニ關スル模型標本等ヲ陳列シ一般茶庶ニ觀覽セシム 但郡内各高等小學校ノ一坪農園ヨリノ出品ヲモ合セテ褒賞セリ

印刷物配布 本校ニ於テ試作セル作物中優良ニシテ地方ニ適セリト認メタル者ノ栽培其他ニ關スル事項ヲ印刷ニ付シ一般來觀者ニ頒テ以テ參考ニ供セリ

卒業生 本校卒業生及白河郡立農學校卒業生ヲ本校同窓會員トシ地方實業トノ聯絡ヲ保ツ一方便トセリ

蠶種配布 本校ニ於テ製造シタル蠶種ハ當業者ノ希望ニ應シ配付ヲナス

其他個人並ニ團體ノ觀察及質問等ニ於テハ該科擔任者説明應答ノ任ニ膺シ質問ヲナス者或ハ又養蠶期ニ際シ本校蠶兒飼育狀況ヲ觀察シ範ヲ本校ニ探ラントスル者等年ヲ逐フテ増加スルノ傾向ヲ示スニ至リタルハ實ニ望マシキ現象ナリトス

十四、寄宿舎ノ概況

一、沿革 當寄宿舎ハ大正十一年四月六日、西白河郡白河町ニアリシ福島縣立農學校寄宿舎ノ移轉ニシテ該寄宿舎ハ大正二年五月五日ヨリノ開舎ニシテ明治四十四年九月五日ノ創設ナル福島縣西白河郡立農學校寄宿舎ヲ引續キタルモノナリ

一、編成及舎生數 本校生徒ニシテ自宅ヨリ通學シ得ルモノ、適當ナル監督者アル家ヨリ通學シ得ルモノ、或ハ特別ナル事情ニヨリ入舎シ得サル者ヲ除クノ外總テ寄宿舎ニ入ラシムル規定ナリ、舎生室ハ監生室ノ外第一室ヨリ第十四室ニ至リ、各室ハ八疊間ニシテ舎生四人ツ、ヲ收容スルコトヲ得現在舎生ハ三十九名ニシテ第十四室ヲ除キ他ハ全部使用セリ

監生室ニハ上級生ヨリ監生二名ヲ選抜シテ置キ、各室ニハ上級生ヨリ選抜シテ室長、副室長各一名ヲ置ク、
 現今ニテハ尙二十一名ノ収容力アリ

一、舍内訓育 新入舎生ニ對シテハ舍則ヲ嚴守スベキヲ宣誓セシメ而シテ舍監ハ舎生ノ個性ヲ熟知シ其ノ訓
 育ニ資セン爲必ス舎生ト寢食ヲ共ニシ又時ニ會テ開キテ團集懇談シ相互ニ智識ヲ交換セシム或ハ舎生一同遠
 足ヲ催スコトモアリ舎庭ニ果樹ヲ植エ花卉ヲ作り又炊事場ノ殘滓ヲ利用シテ豚ヲ養ヒ以テ勤勞ノ習慣ヲ養成
 スルト同時ニ既得ノ智識ヲ實地ニ應用セシム寄宿舎内外ニ於ケル掃除ハ上級生監督ノモトニ一、二年生主ト
 シテ之ニ當ル舎生ノ起床食事門限自習就寢等ノ時限凡ソ左ノ如シ

月	起	床	朝點呼	朝	食	夕	食	門	限	自習時間	夕點呼	消	燈
自拾壹月	午前六時	午前六時半	午前七時	午後五時半	午後七時	午後九時	午後九時半	午後九時半	午後九時半	午後九時半	午後九時半	午後九時半	午後九時半
自拾貳月	午前六時	午前六時半	午前七時	午後五時半	午後七時	午後九時	午後九時半	午後九時半	午後九時半	午後九時半	午後九時半	午後九時半	午後九時半
自拾參月	午前六時半	午前七時	午後五時	午後六時半	午後八時半	午後九時半	午後九時半	午後九時半	午後九時半	午後九時半	午後九時半	午後九時半	午後九時半

一、學校用品其他ノ販賣 學用品其他日用品等ヲ卸値段ヲ以テ一時ニ購入シ置キ高學年中ヨリ係ヲ命シテ販賣
 セシム舎生ハコレニヨリテ大ニ便利ヲ得ルト同時ニ相當賣上利益ヲ得此ノ利益金ハ舎費ニ繰リ込ミテ使用ス

一、炊 事 男女一名宛ノ炊夫ヲ雇入レ共同自炊トカシ舎生中ヨリ一學期交代ニ數名ヅ、炊事係ヲ任命シ
 穀物野菜、薪炭等ノ購入選定並ニ食費決算ヲ行ハシム

一、學資金ノ保管 學資金ハ總テ保護者ヨリ直接舎監宛ニ送付セラル、ヲ以テ此ノ金額ヲ舎生學費簿ニ記入シ本
 人ニ交付ス舎生ハ必要ニヨリ毎週金曜日迄ハ途費並ニ金額ヲ該帳ニ記シ舎監ニ提出スレハ舎監ハ調査ノ上毎
 週土曜日之ヲ支拂フモノトス而シテ月末ニ於テ各舎生一ヶ月間ノ收支金額ヲ調へ學校長ノ檢閲ヲ經テコレヲ
 保護者ニ通知ス

寄宿舎生徒郡別 (大正十三年十二月現在)

郡別	專修科一年	專修科二年	本科一年	本科二年	本科三年	計
岩瀬						五
東白河						五
田村						六
西白河						五
安達						六
伊達						一
石城						二
河沼						四
枋木縣						一
安積						一
北會津						一
計	一	一	一〇	一〇	一一	三三

284
421

大正十四年三月十日印刷
大正十四年三月十五日發行

(非賣品)

福島縣立岩瀨農學校

福島縣岩瀨郡須賀川町字西四丁目十八番地

印刷人 精文社代表者 佐藤市太郎

福島縣岩瀨郡須賀川町字兵部田四十七番地

印刷所 精文社印刷所

電話 一長二七二番
振替仙臺五五四一番

大	正	十	四	年	三	月	十	日	印	刷	
大	正	十	四	年	三	月	十	五	日	發	行
(非賣品)											
福島縣立岩瀨農學校											
福島縣岩瀨郡須賀川町字西四丁目十八番地											
印刷人 精文社代表者 佐藤市太郎											
福島縣岩瀨郡須賀川町字兵部田四十七番地											
印刷所 精文社印刷所											
電話 一長二七二番 振替仙臺五五四一番											

終